

官

報

號外

明治四十四年二月五日

日曜日

印

刷

局

○第二十七回 衆議院議事速記録第九號
帝國議會

明治四十四年二月四日(土曜日)午後一時八分開議

議事日程 第八號 明治四十四年二月四日

午後一時開議

第一 工場法案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 蠶絲業法案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 明治四十一年法律第十一號中改正法律案(政府提出)

第六 作業會計法中改正法律案(政府提出)

第七 東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル法律案(政府提出)

第八 未成年者飲酒取締ニ關スル法律案(根本正君提出)

第九 民事訴訟法中改正法律案(横山金太郎君提出)

第十 裁判所構成法中改正法律案(豊増龍次郎君提出)

第十一 鐵道速成ニ關スル建議案(古井由之君提出)

第十二 鐵道建設ニ關スル建議案(三土忠造君提出)

第十三 鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外三名提出)

第十四 鐵道速成ニ關スル建議案(荒川五郎君提出)

第十五 飛驒鐵道建設ニ關スル建議案(古井由之君提出)

第十六 羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案(高橋光威君提出)

第十七 羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案(齋藤字一郎君提出)

第十八 國設大公園設置ニ關スル建議案(清澄太郎君提出)

第十九 教員優待ニ關スル建議案(荒川五郎君提出)

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス
(書記朗讀)
一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第二號) 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案
(特第二號) 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

第二十 小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案(三土忠造君提出)

一去二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス
(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第二號) 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案
(特第二號) 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案

提出者 大岡 育造君

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 高橋 光威君

田邊 熊一君

阿部孫左衛門君

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 斎藤 宇一郎君

加藤 正英君

池田 藤八郎君

荒谷 桂吉君

柳田 清兵衛君

大繩 久雄君

山際 敬雄君

山田 桃作君

柳田 満德君

戶狩權之助君

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 青柳 信五郎君

田邊 熊一君

三浦 盛

山田 晴登君

斎藤 登君

第一讀會

登錄稅法中改正法律案

板倉 中君

塚田 啓太郎君

内野 延君

武豊港修築三關スル建議案

花村 覚三郎君

大橋 賴摸君

鐵道建設ニ關スル建議案外二件

町田 旦

佐治 幸平君

有本 國藏君

辻川與一

藤崎 朋之君

丸山 孝一郎君

北陸帝國大學設立ニ關スル建議案

戸水 寛人君

太田 精藏君

神保 東作君

武豊港修築ニ關スル建議案委員會

委員長 井上 敏夫君

區裁判所名稱變更ニ關スル法律案(山岡國吉君提出)委員會

委員長 山岡 國吉君

登錄稅法中改正法律案委員會

委員長 戸水 寛人君

北陸帝國大學設立ニ關スル建議案委員會

委員長 戸水 寛人君

鐵道建設ニ關スル建議案(町田旦龍君外一名提出)外二件委員會

委員長 福岡 精一君

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ御承認ニナツタモノト決シマス、而シテ其補缺ト

第四、第七、各分科會ヲ本會議中ニ開キタイト云フコトヲ各主査ヨリ申出ガアリマス、

許可シテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ御承認ニナツタモノト決シマス、而シテ其補缺ト

申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ御承認ニナツタモノト決シマス、而シテ其補缺ト

申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ御承認ニナツタモノト決シマス、而シテ其補缺ト

本會議散會後又ハ休會中ニ於テ特別委員ノ辭任ノ申出ガアリタルトキ、議長ニ於テ其

改正法律案外二件委員鈴木寅彦君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマシタガ、其補缺ヲ指名シ、公報ニ掲ゲ

取急グ必要ガアリマシタカラ、議長ニ於テ其辭任ヲ許可シ、補缺トシテ守屋此助君ヲ指

名致シマシタ、此段御承認ヲ請ヒマス

〔「異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス——議員宮内翁助君病

氣ノタメ今四日ヨリ一週間請暇ノ願出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ許可スルコトニ致シマス——日程

第一、工場法案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

〔「異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス——議員宮内翁助君病

氣ノタメ今四日ヨリ一週間請暇ノ願出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ許可スルコトニ致シマス——日程

第一、工場法案(政府提出)

第一讀會

工場法案

第一條 本法ハ左ノ各號ノニ該當スル工場ニ之ヲ適用ス

第一 常時十人以上ノ職工ヲ使用スルモノ

二 事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノ

第三條 本法ノ適用ヲ必要トセサル工場ハ勅令ヲ以テ之ヲ除外スルコトヲ得

第二條 工業主ハ十二歳未滿ノ者ヲシテ工場ニ於テ就業セシムルコトヲ得

ス但シ本法施行ノ際十歳以上ノ者ヲ引續キ就業セシムル場合ハ此ノ限ニ

在ラス

行政官廳ハ輕易ナル業務ニ付就業ニ關スル條件ヲ附シテ十歳以上ノ者ノ

就業セシムルコトヲ得ス

第三條 工業主ハ十五歳未滿ノ者及女子ヲシテ一日ニ付十二時間ヲ起エテ

就業ヲ許可スルコトヲ得ス

第四條 工業主ハ十五歳未滿ノ者及女子ヲシテ午後十時ヨリ午前四時ニ至

ル間ニ於テ就業セシムルコトヲ得ス

第五條 左ノ各號ノニ該當スル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ適用セス但シ

本法施行十五年後ハ十四歳未滿ノ者及二十歳未滿ノ女子ヲシテ午後十時

ヨリ午前四時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルコトヲ得ス

一時ニ作業ヲ爲スコトヲ必要トスル特種ノ事由アル業務ニ就カシムルトキ

二 夜間ノ作業ヲ必要トスル特種ノ事由アル業務ニ就カシムルトキ

三 曇夜連續作業ヲ必要トスル特種ノ事由アル業務ニ職工ヲ二組以上ニ就業セシムルトキ

前項ニ掲タル業務ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

第六條 職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テハ本法施行後十五年間第四條ノ規定ヲ適用セス

第七條 工業主ハ十五歳未満ノ者及女子ニ對シ毎月少クトモ二回ノ休日ヲ設ケ、職工ヲ二組ニ分チ交替ニ午後十時ヨリ午前四時ニ至ル間ニ於テ就業セシムル場合及第五條第一項第二號ニ該當スル場合ニ於テハ少クトモ四回ノ休日ヲ設ケ又一日ノ就業時間カ六時間ヲ超ユルトキハ少クトモ十分、十時間ヲ超ユルトキハ少クトモ一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ設クヘシ

職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ午後十時ヨリ午前四時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルトキハ一週間ヲ超エサル期間毎ニ其ノ就業時ヲ轉換スヘシ

第八條 天災事變ノ爲又ハ事變ノ虞アル爲必要アル場合ニ於テハ主務大臣ハ事業ノ種類及地域ヲ限り第三條乃至第五條及前條ノ規定ノ適用ヲ停止スルコトヲ得

避クヘカラサル事由ニ因リ臨時必要アル場合ニ於テハ工業主ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ期間ヲ限り第三條ノ規定ニ拘ラス就業時間ヲ延長シ、第四條及第五條ノ規定ニ拘ラス職工ヲ就業セシメ又ハ前條ノ休日ヲ廢スルコトヲ得

臨時必要アル場合ニ於テハ工業主ハ其ノ都度豫メ行政官廳ニ届出テ一月ニ付七日ヲ超エサル期間就業時間ヲ二時間以内延長スルコトヲ得

第九條 工業主ハ十五歳未満ノ者及女子ヲシテ運轉中ノ機械若ハ動力傳導裝置ノ危險ナル部分ノ掃除、注油、検査若ハ修繕ヲ爲サシメ又ハ運轉中ノ機械若ハ動力傳導裝置ノ調帶、調索ノ取附ケ若ハ取外シヲ爲サシメ其ノ他危險ナル業務ニ就カシムルコトヲ得ス

第十條 工業主ハ十五歳未満ノ者ヲシテ毒薬、劇薬其ノ他有害料品又ハ爆發性發火性若ハ引火性ノ料品ヲ取扱フ業務及著シク塵埃、粉末ヲ飛散シ又ハ有害瓦斯ヲ發散スル場所ニ於ケル業務其ノ他危險又ハ衛生上有害ナル場所ニ於ケル業務ニ就カシムルコトヲ得ス

第十一條 前二條ニ掲タル業務ノ範圍ハ主務大臣之ヲ定ム

前條ノ規定ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ十五歳以上ノ女子ニ付之ヲ適用スルコトヲ得

第十二條 主務大臣ハ病者又ハ產婦ノ就業ニ付制限又ハ禁止ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十三條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ工場及附屬建設物並設備カ危害ヲ生シ又ハ衛生、風紀其ノ他公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ豫防又ハ除害ノ爲必要ナル事項ヲ工業主ニ命シ必要ト認ムルトキハ豫防又ハ一部ノ使用ヲ停止スルコトヲ得

第十四條 當該官吏ハ工場又ハ其ノ附屬建設物ニ臨檢スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證票ヲ携帶スヘシ

第十五條 職工自己ノ重大ナル過失ニ依ラスシテ業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ工業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ遺族ヲ扶助スヘシ

第十六條 職工、職工ヲラムトスル者若ハ工業主又ハ其ノ法定代理人若ハ工場管理人ハ職工又ハ職工ヲラムトスル者ノ戸籍ニ關シ戸籍吏ニ對シ無之ヲ定ム

第十七條 職工ノ雇入、解雇、周旋ノ取締及徒弟ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 工業主本法施行區域内ニ現住セサルトキハ工場ニ付一切ノ權限ヲ有スル工場管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第十九條 工業主ハ特別ノ事由アル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケ前項ノ工場管理人ヲ選任スルコトヲ得

第二十條 第一條乃至第五條、第七條、第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者及第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ從ハサル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケ若ハノ罰金ニ處ス

第二十二條 工業主ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十三條 工業主ハ職工ノ年齢ヲ知ラサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス但シ工業主及取扱者ニ過失ナカリシ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 主務大臣ハ第一條ニ該當セサル工場ニシテ原動力ヲ用フルモノニ付テハ第九條、第十一條、第十三條、第十四條、第十六條及第十八條乃至第二十三條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ハ工場管理人ニ關スル規定及罰則ヲ除クノ外官立又ハ公立ノ工場ニ之ヲ適用ス

官立工場ニ關シテハ所轄官廳ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳ニ屬スル職務ヲ行フ

(農商務大臣男爵大浦兼武君登壇)

云フト第一條ニ「十二歳未満ノ者ハ工場ニ就業セシムルコトヲ得ス」ト云フコトヲ規定シテ置キナガラ、直グ但書ニ於テ十歳以上ノ者ハ引續イテ就業セシムル場合ハ此限りニ在ラズ「本法施行ノ際十歳以上ノ者ヲ引續キ就業セシムル場合ハ此限りニ在ラズ」ト云フ

ハ御承知ノ通リ十數年來ノ問題デゴザイシテ、政府ニ於テモ種々調査ヲ盡シマシテ、而シテ此度工場法ヲ提出致シタ譯デゴザイマス、御承知ノ通リ昨年即チ前議會ニ案ヲ具シテ提出致シマシタコロガ、屢々委員會等モ開カレマシテ、種々御意見モアツタノデゴザイマス、其當時内容ニ於テ再ヒ調査セザルヲ得ヌト云フコトヲ信シマシテ、一旦撤回致シタコトハ御承知ノコトデゴザイマス、其後尙我國ノ現狀ニ適當スルトコロノ法律ヲ制定致シタイト存ジマシテ、調査ニ調査ヲ重ネテ、昨年ノ秋全國各地長官、或ハ商業會議所、或ハ中央衛生會、其他工業協會、生產調查會、アラユル關係ノ處ニ意見ヲ廣く諮ヒマシテ、而シテ其意見ヲ纏メテ、尙生產調查會ニ參考ニ回シテ、種々生產調查會ニ於テモ熱心研究セラレタノアリマス、其調査ヲシタルトコロニ同意致ストコロノモノガ多ウゴザイマシタカラシテ、大體ニ於テ生產調查會ノ意見ヲ以テ纏メテ、サウシテ此度提出致シタノデゴザイマス、生產調查會ハ尙或ハ紡績業者其他ノ實際其業ニ當ツテ居ルトコロノ人ヲ招ンデ意見ヲ詳シク聽イテ、其最終ニ至リテ意見ヲ纏メタトコロノモノデゴザイマシテ、餘程鄭重ニ調べタモノデゴザイマス、今日ハ即チ御承知ノ通り我邦ノ工業ノ發達ニ伴ヒマシテ、愈々茲ニ工場法案ヲ制定シナクテハナラスト云フ、必要ニ迫ツタノデゴザイマス、其精神ハ健全ナル我國ノ工業ノ發達ヲ計畫スルト同時ニ、婦女子幼年者ノ健全ヲ保護シ、而シテ職工ニ於テハ成ルベク永ク勤續シテ、熟練ノ職工ヲ養成シ、而シテ我國ノ工業ノ發達ヲ圖ラナクテハナラスト云フ、考デゴザイマス、右大體ノ趣意デゴザイマスカラ、十分ニ御審議ヲ請ヒマシテ御協賛アランコトヲ希望致シマス、尙委員會ノ節ニ於テ詳細説明モ致シタイト存ジマスカラ、茲ニ大體ノコトヲ申上ゲテ置キマス。

○ト部喜太郎君 本案ニ付テ質問ガアリス、本案提出ノ理由ハ唯今大浦農商務大臣ヨリ御述ベニナツタ通りアリマス、要スルニ此工業ノ發達ニ伴ヒテ、愈々工場法案ヲ制定シナケレバナラヌ必要ヲ認メタノデアル、而シテ此案ノ内容及此案ニ添付セラレタ理由書ニ依リマスト、此案ニ制定スルトコロノ眼目ト云フモノハ、主トシテ職工ヲ保護スルノテアル、殊ニ職工中ニ於キマシテモ、婦女子並ニ幼少者ヲ保護スルノガ此案ノ眼目デアルト云フ事柄ニナツテ居ルノテアリマス、然ルニ此案ノ内訳ニ付テ調べテ見マスルト云フト、殆ど此案ノ生命トモ申ベキトコロノ婦女幼少者ト云フモノヲ保護スル點ニ於テ、初メニ原則ヲ定メテ、但書デ直グニ之ヲ取消シ、各條ヲ悉ク見テ參リマスルト云フト、原則ヲ定ムルト、直グニ次ノ但書デ取消ラシテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノアリマスル、細カイ遂條ノ質問等ニ於キマシテハイヅレ委員會ニ於テ十分ノ討議ガアルコトデアラウト思ヒマスガ、例ヘ本案ノ支配ヲ受クベキ處ニ工場ノ種類ト云フモノハ、本案ノ最モ眼目トスベキトコロデアリマシテ、其第一條ニ依リマスルト「本法ハ左ノ各號ノニ該當スル工場ニ之ヲ適用ス」ト云フノテ、第一第一ト云フノカ極メテアルノアリマス、然ルニ直グ最後ノ但書ニ持ツテ行シテ「本法ノ適用ヲ必要トセサル工場ハ勅令ヲ以テノヲ除外スルコトヲ得」此法律ノ支配ヲ受クベキ工場ト云フモノハ、工場法ノ第一條ノ第一、第二ニ該當スベキモテアルト云フコトヲ定メテ置キナガラ、其末項ニ於テハ本法ノ適用ヲ必要トシナイトコロノ工場ハ、勅令ヲ以テ之ヲ除外スルコトヲ得ト云フコトニカツテ居ルノアリマスルカラ、折角此法律ノ支配ヲ受クベキ工場ヲ定メテ置キマシテモ、第一條ノ末項ニ依シテ勅令ヲ以テ悉ク此法律ト云フモノヲ抹殺スルト云フコトが出來ルヤウナ規程ヲ設ケタノアリマセウカ、ソレカラ其次ニハ此婦女並ニ幼少者ノ年齢及就業時間ト云フモノハ、此案ノ眼目デアリマスル、然ルニ此案ニ依リマスト

云フト第二條ニ「十二歳未満ノ者ハ工場ニ就業セシムルコトヲ得ス」ト云フコトヲ規定シテ置キナガラ、直グ但書ニ於テ十歳以上ノ者ハ引續イテ就業セシムル場合ハ此限りニ在ラズ「本法施行ノ際十歳以上ノ者ヲ引續キ就業セシムル場合ハ此限りニ在ラズ」ト云フノテ、但書ニ於テ取消シテ居ル、今度ハ第三ノ但書ニ「行政官廳ハ此限りニ在ラズ」ト云フシタルトコロニ於テ悉ク第二條ノ原則ヲ破ツテ居ルノアリマス、第二條ニ至リマスルト、十五歳未満ノ者及女子ト云フモノハ、一日ニ付テ十一時間ヲ超ヘテ就業セシムルコトヲ得ズト云フ事柄ヲ定メテ置キナガラ、直グ其但書ニ於テ「主務大臣ハ業務ノ種類ニ依リ本法施行後十五年間ヲ限り前項ノ就業時間ヲ一時間以上ノ就業ヲサセテハナラスト云フノテ、婦女幼少者ヲ保護スルコロノ法律ヲ定メテ置キナガラ、其但書ニ於テハ此法律が行ハレテ、十五年ノ間ト云フモノハ更ニ一時間以内ニ於テハ延長スルコトが出來ルト云フノテ、此原則ヲ直ニ取消シテ居ルノアリマス、第五條ニ至リマスルト又本則ヲ定メテ、其本則ヲ取消シテ居ル、第六條ニ至リテヤハリ同様ナル、第七條ニ至リテモ同様ナルト云フノテ、初メニ原則ヲ定メテ、如何ニモ婦女及幼少者ト云フモノヲ保護スルトコロノ條文ヲ設ケテ置キナガラ、但書ヤラ例外ヤラ無暗ニ規定シテ、悉ク原則ヲ取消シテ居ルノアリマセウカ、斯様ニシテ以テ此婦女及幼少者ト云フ者ヲ保護スルトコロノ精神ヲ貫クコトが出來ルデアリマセウカ、法律ヲ以テ婦女並ニ幼少者ヲ保護スルト言ヒナガラ、行政官ノ都合次第ニ依リテハ工場主ノ請願次第ニ依リテハ、悉ク此原則ヲ翻シテ工場主ノ都合ノ好イヤウニ此法律ヲ施行スルコトが出來ルト云フヤウナ案ヲ立テタノハ、其精神ト云フモノハ何レニアルノアリマセウカ、苟モ公益ノタメニ工場法ト云フモノヲ設ケテ、婦女及幼少者ノ保護ヲ爲シ竝ニ一般ノ労働者ヲ保護スルト云フノアリマスレバ、工場主ノ都合ガ好カラウカ惡シカラウガ、ソシナコトハ眼中ニ置カナイデ、首尾一貫シタコロノ法律ヲ立てナレバナラスト思フノアリマスルケレドモ、細カイコードニ付テハ尙逐條ニ付テ御尋ラシタノハアルノアリマスケレドモ、此法律ノ支配ヲ受クベキ工場ノ種類ト云フモノヲ勅令ヲ以テ悉ク之ヲ除外スルコトノ出來ルヤウニ致シタノハ、其趣意何レニアリヤ、原則ニ労働者ヲ保護スルトコロノ規程ヲ設ケテ置キナガラ、例外ニ於テ悉ク之ヲ抹殺シテ居ルト云フノハ如何ナル趣意アルカト云フコトヲ承リタインアリマス。

○議長(長谷場純孝君) 岡政府委員

(政府委員岡實君登壇)

○政府委員(岡實君) 唯今ノ御尋ニ對シテ私カラ御答ヲ致シマス、此工場法ハ一切ノ工業ニ通ジテ總テノ工業ヲ網羅シテ、其規程ヲ設ケント試ミタモノデゴザイマスルガタメニ、此中ニ規定シテアルコトハ總テノ工業ニ通シタル通則ト云フヘキモノヲ原則ト定メテ、其通則ニ當嵌メテ或ル特殊ノ工業が非常ナル不便ヲ感スルト云フヤウナ場合ニハ、其工業ニ對シテ例外ヲ開クト云フコトヲ主眼ト致シマシタノアリマス、此工業ノ種類ハ御承知ノ通りニ様ニアゴザイマシテ、例ヘ建築ノ様子ト云ツテモ或ハ堂々タル煉瓦ノニ操業シテ居ル工業モアレバ、又掘建小屋ノヤウナ、小サナ設備ノニ操業ラシテ居ルモノモアレバ、或ハ密ノモアル、或ハ工場ト云フモノヲ特設セズシテ、店舗デ業ラ營シテ居ルモノモアレバ、或ハ密閉シタル室内ニ於テ操業ラシテ居ルモノモアゴザイマス、其外單ニ設備ノミナラス其スル仕事ハ隨分様ニニ分レテ居ルノアゴザイマシテ、是等ノ工業ヲ通シテ工場法ハ先づ是位以上働くイテハイカヌ、是位ノ休暇ハ與ヘナケレバナラスト云ニヤウナ、此大體ノ原則、此原則ヲ定メテ其原則ヲ以テ通則トシ、而シテ此通則ニ對シテ苦痛ヲ感スル此特殊ノ工業ニ對

シマシテハ、今御質問ノ如ク例外ヲ開クコトヲシテ居ルノデゴザイマス、唯今ノ御質問ノ中ニ行政官ノ都合ニ依リ或ハ民間ノ請願ニ依リテ此例外ヲ濫リニ適用スルノデハナイカト云フヤウナ御懸念ガアルヤウナ御様子デゴザイマシタガ、政府ノ見ルトコトハ決シテサウデハナク單ニ一律ニ總テノ工業ヲ通シテ規程ヲ設ケントスレバ、却テ此工業上ニ非常ナル苦痛ヲ感ズル種類ノ工業が多ク出來テ居ル、此工業ノ種類ハ如何ナル種類デアルカト云フコトハ、此所ニ詳シクハ申上ゲマセヌガ、總テ此設備ノ模様、操業ノ状況、其他ノ模様ヲ稽ヘテ特ニ原則ニ當嵌メ得ザル事情ノアルモノニ對シテノミ、例外ヲ開ク、斯ル精神ヨリシテ此規程が出來テ居ルノデゴザイマス、其結果トシテ唯今御質問中ニゴザイマ斯特ニ歲以上十二歳以上ト云フヤウナ點ニ付テモ原則トシテハ十二歳ヲ以テ通則トスル、併ナガラ或ル非常ニ輕微ナル仕事ヲサシテ、極ク短時間使フト云フ場合ニハ、之ヲ許シテ少シモ差支ナイト云フコトヲ認メマシタメニ、例外ヲ設ケタノデゴザイマス、又第二條ニハ十一時間ヲ原則トシテアリマスガ、如何ナル工業デモ十二時間勤クト云フコトハ隨分長イノデゴザイマス、併ナガラ若シ其操業ノ種類が著シク健康ヲ害スルヤウナ種類デナク、又危害ヲ生ジナイ、サウ多クノ疲勞ヲ來サナイト云フヤウナ工業ガアルトスレバ——又現ニソレガアルノデアリマス、ソレ等ノ工業ニ對シテハ通則ヲ適用スルコトヲ避ケテ、尙當分此十三時間十四時間ト云フ操業ノ自由ヲ與ヘテ差支ナイト云フコトヲ認メマシテ、年齢ノ點モ又時間ノ點モ例外ヲ設ケタノデゴザイマス、其外五條、六條ニ付テノ御質問モゴザイマシタガ、總テ同一ノ精神ニ出で、居ルノデゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス○田邊熊一君 本問題ハ重要ナ問題デアリマス故ニ、私モ大體ニ付テ二三質問ヲ致シタイト思ヒマス、我國ノ工場主ト労働者ノ間ハ最モ圓滿ニ調和セラレテ居ル今日ノ工業ノ現況ニ對シマシテ、本案ヲ制定スルト云フコトハ、未ダ以テ焦眉ノ急ニ迫リタリト認ムルコトハ出來ナインデアリマス、此故ニ識者ノ中ニハ我帝國ガ一等國ノ伍班ニ列シタル所以ヲ以テ、文明國ノ裝飾品トシテ備ヘネバナラムト云フ批評ヲ與ヘタモノモアル、又現ニ第一十六議會ニ政府が本案ヲ提出シタル際ニ大浦農商務大臣ハ此本案ノ特別委員會ニ列席シテ、レバ説明セラル、ニ當リマシテ、暗ニ此意味ニ近イコトヲ仄メカサレタト云フコトハ、本員ノ今尙記憶ニ存スルトコロデアリマス故ニ政府が本案ヲ提出スルトコロノ眞意ハ何レニ在ルカト云フコトヲ承リタイ、第一問トシテハ本案ハ工業ノ消長盛衰ニ關スル重要ナ問題デアリマス故ニ、若シ其制定ヲ誤リ、實施時期宜シキヲ得ナカッタナラバ、工業界ニ大恐慌ヲ來シテ、甚シク工業ノ發達ヲ阻礙スルコトニナルノアル、政府ハ相當準備期間ヲ與フルト云フコトハ、當然ノコトデアリマシテ、本法ニハ勅令ヲ以テ定ムトアリマスカラ、政府が幾年ノ後ニ之ヲ施行スルコトニ至リマスカ、之ヲ承リタイ、第二問ハ申スマモナク法ハ死物デアリテ、之ヲ運用スルノ妙ハ人ニ在ル、工場法ノ制裁ヲ受ケルトコロノ全國一万有餘ノ工場ヲ監督スル官吏ハ、機關機器及工業ノ知識ヲ専門ニ持タネハナラズ、又非常ニ經驗ノアル人デナケレバムザカシイコト、思ヒマス、工場當事者が多ク危険ナリトシテ憂慮スル處ハ、工場ニ經験ナク知識ノナイ人ヲ以テ監督セシムルニ至ルヤト云フニアリマス、政府ハ比較的此資格要件ヲ具備スルトコロノ官吏ヲ任用スルノハ困難デハナカラウカトハ疑フノデアリマスガ、願クハ詳細ニ親切ニ御答辯ヲ請ヒタイト思ヒマス、尙詳シイコトハ委員會ニ於テ御質問ガアラウト思ヒマスカラ略シマス

(政府委員岡實君登壇)

○政府委員(岡實君) 唯今御質問ノ第一點ハ日本ノ職工ト工業者ノ間ハ頗ル圓滿ニ進ミツ、アルノデアルガ、然ルニ此工場法ヲ立テルコトハ、却テ此圓滿ナルコトニ對シ答辯ヲ請ヒタイト思ヒマス、尙詳シイコトハ委員會ニ於テ御質問ガアラウト思ヒマスカラ

テ、弊害ガアリハセヌカト云フヤウナ御質問デアシタヤウデアリマスガ、サウデスカ

○田邊熊一君 サウデス、サウ云フ關係デアリマス故ニ、此制度ヲ以テ焦眉ノ急ニ迫タトハ認メ難イト云フノデアリマス

○高木正年君 私ノ御尋致シタノハニツホドアリマス、第一ハ工場法案ヲ見マスルト施行期限が定メテナインデアリマス、本法ノ施行期日ハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イテアル、元來工場法案ハ本年初メテ當議會ニ提出ニナツタモノデハナインデ、前年ニ於テ提出セラレ、提出前ニモ、或ハ商業會議所ノ意見ヲ聽キ、或ハ直接ニ各工場主ノ意見ヲ聽キ、其他朝野有識ノ人ニ就テ意見ヲ問ハレテ、昨年ニ於テ工場法案ノ調査ハ既ニ完全ナリト云フコトデアリタニ拘ハラズ、之ヲ再調査ノ名ノ下ニ本年更ニ之ヲ提出スルコトニサレタノデアル、而至昨年ニ於テ生產調查會ノ調査ヲ經ラレテ、總テノ方面ニ於テ何等此案ニ付テ調査ノ上ニ缺點ナキモノト考ヘバナラヌノデアリマス、然ルニ政府ハ此案ヲ提出来スルニ當ツテ尙施行期限ヲ定メズシテ、何等カ此先ニ於テ調査ノ必要アルが如キ態度ヲ示サル、ノハ、私共ニ於テ考フルトコロニ依レバ、政府ニ於テハ此工場法案ヲ實行スルニ付テノ誠意ヲ缺イテ居ルト考ヘル外ナインデアリマス、ソレ故ニ政府ハ何故ニ此施行期限ヲ此法律發布ノトキニ於テ極メルノ勇氣ガ無イカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、ワレカラ第一ハ唯今ト部君ノ御質問モアリマシタガ、ト部君ノ言ハレル如ク此工場法ハ名ニ於テハ徒弟若クハ職工ヲ保護スルト云フコトニナツテ居ルガ、事實ニ於テハ工場ヲ代表シテ、是等ノ労働者ヲ代表スル意味ガ無イコトニ考ヘラレルノデアリマス、併シ我國ノ工場ノ狀態ハ大工場ニ於テハサマデノ弊害ハ無イノデアリマスガ、却テ工場法ヲ施行セザル十人以下ノ小工場、若クハ十人以上ト雖モ小ナル工場ニ於テ、種々ナル弊害ガアルノデアリマス、茲ニ一言ヲ申シマスレバ十八人以下ノ所謂徒弟ヲ養フ者ニ於テハ、今日習慣トシテ所謂年季奉公ナルモノ、間ニ、此徒弟ヲ養ッテ居ルモノが多イノデアリマス、是等ノ徒ハ親が病氣ニ罹ツテ歸ラウトシテモ、容易ニ歸ルコトが出來ナイ、本人が病氣デ休業シ、若クハ家ニ歸ラウトシテモ、今日ハ二年、三年、四年ノ間居タダケノ食料ヲ拂ハナケレバ歸サヌト云フヤウニ、始終虐待セラレテ居ルノデアリマス、是等ノ十人以下ノ工場ニ對シテハ、如何ナル方法ヲ以テ政府が取締ル御考デアリマスカ、此ニ點ニ付テ御答辯ヲ聽キタク存シマス

○野田卯太郎君 豊算第七分科ノ會議ヲ唯今ヨリ開キマス

(政府委員岡實君登壇)

○政府委員(岡實君) 先程ノ第一ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、日本ノ今日ノ現況ハ圓滿デアル、然ルニ工場法ヲ特ニ布カナケレバナラム理由如何ト云フコトデゴザイマシタ、ソレニ對シテ先づ御答ヲ致シマス、成程今日工場ノ種類ニハ先程述べマシタガ如ク、イロ／＼ノ種類ガアル、中ニハ吾ミガ見テ全ク完全ナル設備ノ下ニ、又完全ナル職工ノ傭使條件ヲ定メテ、圓滿ニ仕事ヲシテ居ル工場モ多々アルノデゴザイマス、併ナガラ又他方ニ於テハ今高木君ノ御説モゴザイマシタ通ニ、隨分工場主ト職工トノ間ニ圓滿ヲ缺キ、日本ノ職工ノ多數ハ女工デアルガタメニ、思ハズ知ラズ各種ノ有形無形ノ強制ノハナカラウカト私ハ疑フノデアリマスガ、願クハ詳細ニ親切ニ御答辯ヲ請ヒタイト思ヒマスカラ、但ニ下下等ノ労働ヲスルト云フヤウナ狀況モ隨分アルノデゴザイマス、加之ナラズ又職工ガ病氣ニナルトカ、或ハ負傷ヲスルトカ云ウタヤウナ場合ニ於テ、或ル工場ニ於テハ職工ノ需ニ應ジテ十分ナル手當扶助ヲシテ居ルニ拘ハラズ、又他方ニ於テハ全ク是等ノコトヲ顧ミナツイ工場モ多々アルノデアル、工場ノ種類ハ實ニイロ／＼ニ別レ、又其經營方法モ各般ニ分レテ居リマスルガタメニ、主ナル工場即チ例ヘ先刻申シマシタ煉瓦造ノ工場ノ如キ、其中ニ於ケル狀況ヲ以テ、一般ノ工場ヲ律スルコトハ出來ヌノデアリマス、工場

法ノ取締ラントスルノハ、即チ其取締ルベキ事由ノアル工場ニ對シテ、之ヲ取締ラントスルノアリマシテ、此法ノ施行ニ依リテ已ニ圓滿ニ且十分ニ職工ノ保護ヲシテ居ル工場ノ如キハ、工場法ノ規程以上ナル成果ヲ擧ゲテ居ルモノト吾々ハ認メテ居ルノアル、而シテ其他ノ工場ニ對シテハ此工場法ノ規程ヲ以テ先ツ下ノ階級ニ屬シテ居ル工場ヲ中ノ階級マテ持上ゲヤウト云フノガ、即チ本案ノ眼目トル所デゴザイマス、第二ノ御質問ノ何時施行ラスルカト云フ點ニ付キマシテハ、今高木君ノ質問モゴザイマシタカラ、併セテ御答ラ致シマス、工場法ハ之ヲ施行スル上ニ於テ十分ノ用意ヲシナケレバナラヌ、クレデ唯今此法律が假ニ出來タトシテモ、之ヲ直ニ施行スルト云フコトハ、第一其施行ニ當ル人ヲ得ル點ニ於テモ、亦是カラ先更ニ此施行ニ關スル種々ノ工場ノ細則等ニ關スル調査ラスルニシテモ、相當ノ時日ヲ要スルコトデゴザイマスルカラ、先ツ唯今政府ノ見込トシテハ發布後二年間ハ之ニ對シテ猶豫ラ致サナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、其間ニ於テ前申シタ調査ヲ致シ、且之ニ對スル施行ノ衝ニ當ル人々ニ對スル十分ノ準備モ此期間内ニ遂ゲル積リテ居リマス、ソレカラ尙高木サンノ御質問ノ中ニゴザイマシタ小サナ工場ニ對シテハ、ドウ云フ考テ居ルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、此少人數ラ使シテ居ル工場ハ成程大ナル人數ヲ使シテ組織的ニ事業ヲ行シテ居ル工場ニ比シテ、弊害ノ多イコトハ認メテ居リマス、故ニ今回ハ八十人以上ヲ使シテ居ル工場ニハ總テ此工場法ヲ適用スルコト、致シマシタ、十八以下ノ工場ト雖モ、業務ノ性質が危險ニアタリ、或ハ衛生ヲ害スル、又原動力ヲ使シテ居ルモノハ、縱令十八以下ト雖モ、原動力工場法ノ規程ヲ適用スルコトニナッテ居ル、即チ第一條ニ於テハ第二號ノ處ニ「事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノ」ト云フコトヲ掲グマシテ、之ニ對シテヨリ生ズル各般ノ危險ヲ取締ルタメニ工場法ノ規程ノ一部ヲ適用スルト云フコトガ、慥カ二十四條カ五條ニ書イテアルノデゴザイマス

○議長（長谷川純孝君） 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○管原傳君 本案ハ重要ナル案件ト認メマスカラ、議長ノ指名ヲ以テ二十七名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長（長谷川純孝君） 本案ハ議長指名ノ特別委員二十七名ニ付託ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷川純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、日程第三蠶絲業法案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス——大浦農商務大臣

第三 蠶絲業法案（政府提出）

第一 質問

蠶絲業法案

第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、真綿製造、殺蛹乾糞又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ
第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ譲渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病及蠶蛆病ヲ謂フ

第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶及弊蠶ノ病原微生物並蠶蛆及其ノ蛹、蠶ヲ滅殺シ其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ
第五條 施設ヲ爲スヘシ
第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシ
第七條 蠶種製造者ハ第十一條第二項及第十二條ノ規定ニ依ル特別蠶種ヨリ產出シタル繭ヲ用ワルニ非サレハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス
第八條 蠶種製造者ハ左ノ各號ノ一一ニ該當スル繭又ハ蠶ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス
一 蠶兒ノ合同シテ作リタル繭
二 繭層片薄ナル繭又ハ形狀不整ナル繭
三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十一、二化性ニ在リテハ八、多化性ニ在リテハ七ニ達セサルモノ
四 蠶兒ノ發育不良ニシテ收繭ノ量著シク減少シタルモノ
五 體軀ノ不完全ナル蛾
六 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ニ非サル者ノ飼育シタル蠶兒ヨリ產出シタル繭
第七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一ノ飼育時期ニ於テ製絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ス
第八條 蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ蠶種製造用ノ蠶兒ヲ讓渡シ又ハ譲受クルコトヲ得ス
第九條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト同一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルコトヲ得ス
第十條 蠶種製造者又ハ養蠶者ト同一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルコトヲ得ス
第十一條 蠶種製造者ハ收繭後ニ於テ掃殼及繭、產卵後ニ於テ越年蠶種ニ在リテハ出殼繭及卵、不越年蠶種ニ在リテハ出殼繭ニ付検査ヲ受クヘシ但シ不越年蠶種ニ在リテモ卵ノ検査ヲ受ケシムルコトヲ得ス
第十二條 蠶種製造者ハ特別蠶種ト爲サムトスルトキハ之ヲ框製トシ前項ノ検査ノ外越年蠶種ニ在リテハ母蛾、不越年蠶種ニ在リテハ卵及母蛾ノ検査ヲ受クヘシ
第十三條 地方長官ハ第十一條ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セサル蠶種ハ之ヲ燒棄スヘシ
第十四條 檢查合格ノ證印ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ譲渡シ又ハ飼育スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其ノ蠶兒ヲ譲渡シ若ハ飼育シ又ハ第十七條但書ノ規定ニ依リ移入若ハ輸入シタル蠶種ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ妨ケス
第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル検査合格ノ證

印ヲ發見シタルトキハ遲滞ナク之ヲ抹消スヘシ

第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス
主務大臣必要ト認ムルトキハ學術研究又ハ自家用ノ爲ニスル蠶種ノ製造

及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所

得三依リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ

前項ノ規定ニ依リ製造シタル蠶種及其ノ蠶兒ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十七條 本法ヲ施行セサル地又ハ外國ニ於テ製造シタル蠶種ハ之ヲ移入シ又ハ輸入スルコトヲ得ス但シ學術研究ノ爲主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 主務大臣又ハ地方長官必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若ハ其ノ讓渡譲受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

地方長官前項ノ制限ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條 地方長官ハ蠶種又ハ繭ノ賣買又ハ取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第二十條 蠶種ノ臺紙ニ關シ取締上必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 蠶種ノ冷藏ヲ業トセムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ

第二十三條 地方長官ハ必要ニ應シ種繭ノ審査及原蠶種ノ選定ヲ行ハシム

第十八條 蠶種製造若ハ其ノ讓渡譲受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

地方長官前項ノ制限ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 蠶種ノ冷藏ヲ業トセムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ

第二十三條 地方長官ハ必要ニ應シ種繭ノ審査及原蠶種ノ選定ヲ行ハシム

第二十四條 第五條、第七條、第八條第六號、第十一條及第三十八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適用セス

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育、採種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 蠶病豫防事務及種繭審査會ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス

第二十七條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關シ手數料ヲ徵收ス

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物產同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 前條ノ同業組合聯合會及一府縣以上ヲ地區トスル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者ハ相互ノ氣脈ヲ通シ及蠶絲類ノ海外貿易ノ發展其ノ利益増進ヲ圖ル爲全國ヲ地區トシ

第三十條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合中央會ノ設置スルコトヲ得

第三十一條 蠶絲業同業組合中央會ノ設置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ製造シタル蠶種及其ノ蠶兒ヲ除クノ外之ヲ讓渡スルコトヲ得

第三十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ會議ハ之ヲ組織スル同業組合聯合會及同業組合ニ於テ同業組合ノ組合員中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織スヘシ

第三十三條 蠶絲業同業組合中央會議員ノ定數配當及選出方法並役員ノ名稱選任解任及權限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 重要物產同業組合法第六條、第七條及第十一條乃至第十六條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 當該官吏吏員ハ取締上必要ト認ムルトキハ蠶絲業者ノ店舗、倉庫、製造場、飼育場等ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ物件ヲ検査スルコトヲ得

第三十六條 當該官吏吏員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條ノ検査ヲ認ムルトキハ當該官吏吏員ハ犯罪嫌疑者若ハ参考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ認可アリタルトキハ發起人ハ同業組合聯合會、一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者及前條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業同業組合中央會成立シタルトキハ同業組合聯合會、一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者及

第三十二條 蠶絲業同業組合中央會成立シタルトキハ同業組合聯合會及同業組合ニ於テ同業組合ノ組合員中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織スヘシ

第三十三條 蠶絲業同業組合中央會議員ノ定數配當及選出方法並役員ノ名稱選任解任及權限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 重要物產同業組合法第六條、第七條及第十一條乃至第十六條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 當該官吏吏員ハ取締上必要ト認ムルトキハ蠶絲業者ノ店舗、倉庫、製造場、飼育場等ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ物件ヲ検査スルコトヲ得

第三十六條 當該官吏吏員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條ノ検査ヲ認ムルトキハ當該官吏吏員ハ犯罪嫌疑者若ハ参考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スルコトヲ得

第三十八條 當該官吏吏員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條ノ検査ヲ認ムルトキハ當該官吏吏員ハ犯罪嫌疑者若ハ参考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 在ノ各號ノ一一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十条 第四條又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條ノ検査ヲ受ケタル者

第二 第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第三 免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者

第四 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第五 第七條、第八條又ハ第十六條第三項ノ規定ニ違反シタル者

第六 第八條又ハ第十六條第三項ノ規定ニ違反シタル者

第七 第九條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第八 第十條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第九 第十一條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第十 第十二條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第十一 第十三條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第十二 第十四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第十三 第十五條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第十四 第十六條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第十五 第十七條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

第四十條 左ノ各號ノ一一該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第四十一條 第三十八條、第三十九條第一號第四號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價額ヲ追徴ス

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基シテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但ニ在ラス

第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本法ハ沖繩縣、小笠原島、伊豆七島其ノ他命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セス

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ證印ト看做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷藏ヲ業トスル者ハ命令ノ定期内免許ヲ受ケシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

(農商務大臣男爵大浦兼武君登壇)

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 諸君、現行蠶病豫防法ト云フモノハ積年ノ實驗ニ徴シマシテ、種々不便不備ナ點ガアルノゴザイマス、加之ナラズ我邦ノ蠶絲業ノ改良進歩ニ伴ヒマシテ、蠶病豫防ノ事務ノ外ニ積極的ノ經營ニ關スルトコロノ法律ノ規程ヲ要スルコトガ、又少カラヌノゴザイマス、是ニ於テ此際蠶病豫防法ト云フモノヲ廢シマ

シテ、更ニ蠶絲業法ヲ制定シテ、益々斯業ノ發達ヲ計畫シナクテハナラスト云フ趣意ア此度蠶絲業法ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、其要點ヲ大略申上ダマスレバ、第一ニ此度蠶病豫防事項ニ付キマシテ其取締方ヲ一層嚴重ニシテ、而シテ此蠶種検査ニ關スル手數料ヲ徵收スルト云フ制ヲ設クル、是が必要ナル改正ノコトデゴザイマス、第一ハ原蠶種ノ製造選定等ニ關シマシテ相當ノ規程ヲ設クルコト、第二ハ蠶絲業者相互ノ氣脈ヲ通シテ製品ノ改良、海外貿易ノ發展ヲ促スガタメニ組合組織ノ發達ヲ圖リ、殊ニ蠶絲業組合中央會ヲ組織セシメマシテ、而シテ我邦ノ蠶絲業者ノ歩武ヲ齊ニスルト云フノ程スルコト、以上ノ精神ヲ以テ此法律ヲ制定シテ、益々國力増進ノ一部分ニ此發達ヲ規リタイト云フノガ、此度改正ノ趣意デゴザイマス、十分ニ御審議ヲ請ヒマシテ、御協賛アランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 通告ガアリマス、武藤金吉君

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 唯今ニ蠶絲業法案ニ付キマシテ、當局大臣カラ理由ノ御説明ガアリマシタガ、此我國ノ生産タル蠶絲業ノ政策ニ付キマシテ、此法律ヲ出シマスニ付キマシテハ、唯今ノ理由ヲ以テハ、私共満足スルコトハ、出來ヌノデアリマス、當院ニ於キマシテ昨年建議ヲシマシタ趣意ト、此蠶絲業法案ノ項目ヲ見マスルノト、唯今ノ御説明ヲ承ハリマスルノトシテ見マスレバ、誠ニ當院ニ付議ヲ致シマシタ建議ニ副ハナイノデアリマス、且此蠶事政策ニ付テ當局大臣ノ御意見ガナイノハ、甚ダ私共不満足ニ思フノデアリマス、我國ノ蠶業ハ之ヲ伊太利、佛蘭西ニ對シ、近ク支那ニ對シテ、大ナル競争ノ位地ニ立ツテ居リマス、然ルニ政府ニ於キマシテ此定見ノナイト云フコトハ、甚ダ我國ノ蠶業發達ノ上ニ於テ遺憾ノコトデハナイカト思フノデアリマス、今ヤ我國ノ蠶業ハ殆ド世界ノ其主位ニアリマス、而シテ其歐羅巴、亞米利加ニ於ケルトコロノ價ハ最モ其低イ位ニアルノデナツテ居リマス、而シテ我國一億三千万圓以上ノ生絲ノ輸出ヲ致ス外ニ、羽二重ノ上ニ於テ數千万圓ノ輸出ヲ致シテ居リマス、然ルニ此蠶業政策ノ確定ト云フコトハ、現内閣ニ於テ我國ニ於テ、マダ致シテ居ラヌノデアリマス、此蠶種統一ノ問題ハ此我國民ノ生絲ノ價ヲ高クシ、若クハ我國唯一ノ輸出品タル生絲貿易ノ發展ヲ圖ルト云フ趣意カラ、此建議ハ昨年當院ニ於テ決議セレタノデアリマス、而シテ其後ニ於テ政府ハ生産調査會ヲ設ケテ、是等ノ御調查ヲナサレ、其御調査ヲナサレ結果ハ、甚ダ吾ニが得テ大ニ益スルトコロモアリマスガ、此蠶種統一ノ目的ニ副ウテ居リマセヌデ、蠶種ノ統一ハ生絲ガ商品デアル以上ハ、是ハ何處マデモ統一ヲ致シマシテ、サウシテ其價ヲ良クシ、生産額ヲ良クスルト云フコトニシナケレバナラヌノデアリマス、今ヤ我國ノ蠶業ハ桑園ヲ見マスレバ四十三万餘町ニ上ツテ居リマス、當局者モ言ハレマス通り、整理スレバ五割ノ桑ノ增收ヲ見ルコトが出來ル、尙且我國ニ於キマシテハ現在アルダケノ桑園ヲ倍加スルコトモ出來ルノデアリマス、殊ニ新領土タルトコロノ朝鮮ハ我國ノ蠶業地トシテハ、或ハ内地ヨリモ以上ニ希望ヲ囁サナケレバナラヌカト思フノデアリマス、尙且臺灣ハ支那同様ニ五回、六回此養蠶ヲ爲スコトノ出來ル地アルノデアリマス、然ルニ此蠶業政策ハ未ダ内地ヨリモ以此養蠶ヲ爲スコトノ出來ルナインミナラズ、朝鮮、臺灣等ニ對シマシテ何等施設ガ業者ラシテ満足サセルコトが出來ナインミナラズ、當局者モ言ハレマス通り、整理スレバ五割ノ桑ノ增收ヲ

ナシ、一定ノ蠶業ノ政策ガナイト云フコトハ、實ニ此大ナル問題ヲ決定致ストコロノ大綱缺點デハナカト思フノデアリマス、伊太利ニ於キマシテハ唯今ノルサツチ總理大臣ハ十年以前ヨリ此政策ヲ提唱致シマシテ、彼ノ伊太利ノ頽敗セルトコロノ財政ヲ恢復シ

近キ此十年間ニ於キマシテ伊太利ノ蠶業ハ見ルベキモノが多イノデアリマス、千九百八年ニ於キマシテノ產額ト、千九百九年卽チ一昨年ノ產額ヲ較ベマスレバ、其產額ハ百二十ノ二十九増シテ居リマス、尤モ歐羅巴ニ於キマシテハ佛蘭西ハ年々一割以上ノ退歩ノ狀態ヲ現ハシテ居リマスルケレドモ、此伊太利ノ進運ハ實ニ恐ルベキモノデアリマシテ、其總ア施設ガ整ッテ居ルニモ拘ハラズ、我國ハ是ニ對スルトコロノ政策ノナインノハ、甚ダ殘念デアルノミナラズ、實ニ我國家ノ大損失デアルト私ハ信ズルノデアリマス、而シテ此伊太利デ嘗テ現内閣ニ向シテ蠶業同盟ヲシヤウト云フ申込ヲセラレタノデアリマス、此伊太利ト蠶業同盟ヲ結シテ「ラスト」ヲ組ムト云コトハ、果シテ日本ノ利益デアルヤ否ヤ、今ヤ我國ハ此多大ナルトコロノ桑園ヲ持チ、生産力ヲ増スダケノ力ヲ持テ居リ、又國民ハ勤勉努力シテ、大ニ發展スルトコロノ力ヲ持テ居ル現在デアリマスレバ、是ハ蠶業同盟ニ加ハヌスト云フコトハ、最モ宜シト思フノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ現内閣ニ於キマシテモ、之ヲ避ケタノハ甚ダ我國家ノタメニ、又蠶業者ノタメニ喜ブキコトデアル、而シテ我國ノ今日ノ養蠶家ハドノ位アルカト云ヘバ、一般御承知ノ通リ百六十万戸以上ニ達シテ居ルノデアリマス、併ガカラ此蠶絲業法ヲ行ニハ、茲ニ書イテアリマス通り、養蠶、蠶種製造、真絲製造、殺蛹、乾繭、又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買仲立若クハ保管フ業トスル者——保管フ業トスルト云フコトハ明カニ書イテハゴザイマセヌガ、蠶種ヲ保存スルトコロノ冷藏庫業ヲハナイカト私ハ思フノデアリマスガ、是等ノ法律ノ制定ヲ致シマスルニ、此蠶種統一ノ即チ原蠶種法ヲ別ニ制定ヲ致シマセヌデ、原蠶種法ト蠶病豫防法トヲ同一ニシタト云フノハ、如何ナル譯デアルカ、尙ソレニ加ヘテ組合法ヲ強テクリッケテ、ニツノモノヲ一ノ蠶絲業法ト云フモノニセラレタト云フノハ、如何ナル次第デアルカ、實ニ是等ハ第一ノ蠶業ノ根本政策ト云フモノハ、現政府ハ如何ナル方針ヲ立て、居クレルノアルカト云フコトヲ第一ニ當局大臣カラ御説明ヲ願ヒタク、第二ニハ政府ハ原蠶種製造所トシテ豫算ニ之が計上ヲ致シマシテ、費用ヲ要求サレテ居ルノハ、蠶種統一ハ勿論、繭質ノ統一ヲ圖ランタメナルコトハ明カデアル、然ルニ蠶絲業法案ニハ統一ニ關スル條項が五十二箇條ノ中一箇條モナインハ、如何ナル譯デアルカ、是等ハ明カニ御説明ヲ願ヒタク、段々長クナリマスカラ質問ノ要點ダケラ云フコトニスル方が却テ宜カウト思フ、第二ニハ蠶種ノ整理統一ハ何箇年ヲ以テ全國ニ普及スルリテアルカ、繭質ノ統一ヲ期シテ、生絲貿易ノ發展ニ資スル目的ヲ達スルノハ、何年ノ後ニ出來ルモノデアルカ、例ヘハ今日ノ產額桑園ヲ増シ、サウシテ生産力ヲ増シテ發展シタル場合ニハ、今日一億三四千万圓ノ生絲輸出額ハ、十年ヲ期シテ三億ニスルノデアルカ、二十年ヲ期シテ五億ニスルノデアルカ、今日現在ニ於キマシテ世界ノ網ノ需用ハ此唯一ノ生絲貿易ヲ何億萬圓ヲ何年ノ間ニ増シテ行クト云フ政策ヲ執テ居ルノデアルカ、又學校ガアル、是等ハ日本ノ政府ハ兔角數種アルトコロノ學校或ハ講習所トカ云フ冗費ヲ省キ、方針ヲ一定スルノ意ナキヤ、例ヘハ蠶業行政ト申シマスレバ、西ヶ原ニ蠶業講習所アリ、京都ニモ蠶業講習所アリ、地方ニハ農會アリ、又地方ノ蠶業講習所アリ、又學校ガアル、是等ハ日本ノ政府ハ免角數種アルトコロノ學校或ハ講習所トカ云フメニ使ハレタノデアリマスカ、西ヶ原ノ講習所ノ如キハ實際ニモ遠ザカリ、又科學ノ實際ノ

研究ニモ遠ザカツテ居ル、小學校ヲ卒業シタ位ノ生徒ヲ出シテ、地方ノ蠶病豫防法ノ役人若クハ講習生ニ出シテ居ルトコロノ者ハ、果シテドレダケノ效果ヲ舉ゲテ居ルカ、然ルニ此法律ヲ以テ別ニ原蠶種製造所ヲ置クト云フコトハ益々人ノタメニ官ヨ設クルノ風ガアリト云ウテ宜カラウト思フ、是等ニ付キマシテハ蠶種ヲ統一シ、繭質ヲ統一スルト云フ方針ナム拘ハラズ、蠶業ノ行政ハ多々益々複雜ニナルト云フコトハドウ云フ積リデアルカ、冗費ヲ省イテ方針ヲ一定スルト云フ考ハ、政府ニナイカアルカ、是が第四ノ質問デアリマス、第五ハ蠶絲業一般ニ關スル試驗研究事業ハ設備ト人才ヲ要スルノデアルガ、是が政府ノ施設如何、是が質問ノ趣意デアリマス、例ヘハ蠶絲ニ付キマシテハ科學ノ研究ト經驗ト云フコトヲ合致サセテ行クト云フコトガ、最モ必要デアル、然ルニ日本ニ於キマシテハ外山君、横井君、又大森君ノ如キ、蠶絲業ニ付キマシテハ隨分世界三冠絶トマデハ往カヌケレドモ、世界ニ有名ナルトコロノ科學ヲ研究シタ人ガアル、然ルニモ拘ハラズ西ヶ原ノ意見ト農學校ノ學士、博士ノ意見トハ往々意見が合致シナニ、而シテ又西ヶ原ノ講習所、京都ノ講習所ハ、此學士ノ說ヲ迎ヘテ、サウシテ共ニ研究ヲシテヤルト云フ風ニ始終行シテナイ、故ニ西ヶ原アタリテ造リマシタトコロノ繭、ソレカラ總テノモノハ却テニ政府ガ御氣ガ付カレテ居ルカラウデアルカ、ソレカラ其外ニ此科學ノ研究ニ付テモ、若クハ桑、製絲、金融機關、經濟狀態ト云フコトニ付キマシテハ、更ニ御研究ガナイヤテ明カデアル、是等ハ此試驗研究等ハ如何ナル人才ヲ俟テスル積リデアルカ、例ヘハ此蠶病豫防法ニ付テ申シマスレバ、蠶病豫防法ヲ如何ニシテ實際ニ效果ヲ收メルト云フコトニ承リタイト思フノデアリマス、第六ニハ蠶病豫防法ニアリマス、蠶病豫防法ハ御承知ノ如ク地方費ヲ百何万圓カラ使ヒマシテ、年々ヤツテ居ル、此蠶病豫防法ハ法律案ニモ書イテアル通り、今迄不備デアタカラ、效力ガナイト云フコトガ書イテアル、然リ、蠶病豫防法ハ實施サレテ居リマスケレドモ、此病毒ヲナクスルト云フ點於テハ、全クナインデアル、日本ノ蠶具總テノモノヲ沒收シテ燒イシマフ、又五百圓カラ千圓マテ罰金ヲ取ルト云フヤウナコトヲシテヤシテ、此被害ニ罹ダモノハ枚舉ニ遑ナイ程テ、蠶病豫防法ノ厲行ニ付テハ、當局者ハ迷惑ヲ感シテ居ル、勿論迷惑バカリテナイ、是ガタメニニ違背スル者ハ蠶具總テノモノヲ沒收シテ燒イシマフ、又五百圓カラ千圓マテ罰金ヲ付ケマシタガ、官營原蠶種ヲ特別蠶種トハ、誠ニ政府ニ於テモ其人ニ乏シカラズシテ、立派ナ名ヲ付ケタモ敬服シテ居ル、特別蠶種デモ官營原蠶種デモ宜イガ、之ヲ希望配付ニ止メテ、希望スル者ニヤル、サウシテ希望配付ニ止メテ、サウシテ蠶絲當業者ノ希望ノキ場合ハ、其蠶種ヲ如何ニ處分セラレルノデアリマスカ、是迄政府が西ヶ原デ拘ヘタ二十四箇年間何事ヲ爲シツアッタノデアリマスカ、年次十七万五千圓ノ國費ハ何ノタニ使ハレタノデアリマスカ、西ヶ原ノ講習所ノ如キハ實際ニモ遠ザカリ、又經驗ノナイ蠶種ノ成績ト云フモノモ亦役

ニ立タナリ、今希望アル者ニハ分チテ、一方希望ノナイ者ニヤラヌト云フコトニナレバ、ノデアリマスカ、蠶種統一ノ方針ト云フモノガ確定シナイテ、唯希望者ニヤルト云フコトニナレバ、此日本ノ蠶種ノ三百六十一万石ノ繭ヲ造ルトヨロノ土臺ノ蝶ハ、五十蛾ニアリマス、五十蛾ノ種ヲ造ルコトハナイガ、其十分ノ一ヲ造ルトヨロノ政府ハ其種ノ希望者ガナイトキニハ、皆燒棄テシマフ。ノデアリマスカ、蠶種統一ノ方針ト云フモノガ確定シナイテ、唯希望者ニヤルト云フコトニナリマシタナラハ、恐クハ私ハ希望者ハナイト思フノアリマス、此邊ノ希望者ノナイトキニハ其政府デ造リマシタトヨロノ蠶種ハ如何ニ處分ヲナサレル積リテアリマスカ、是モ御辯持ヲ願ヒタイ、第八ニハ官營蠶種ハ地方選出ノ蠶種ト競争が起ツタル場合ニハ、遂ニ官營蠶種排斥ノ惡結果ヲ來ス場合ドウナル、唯今申シマス通り必ズヤ今マデヤツテ居ル從來ノ蠶種製造業者ニモ之ヲ許シテ、二ツナガラヤル場合ニハ、必ズ競争が起ルニ相違ナリ、競争ノ起ツタキニ價ノ廉イ種、民間デ造ツタ方ガ宜イトナツタキニハ、此官營ノ蠶種ハドウシテ之ヲ始末付ケルカ、是ハ生絲貿易ノ發展ノ上ニ於キマシテハ、餘程考フベキコトナルト思ヒマス、第九ハ法案ノ第十八條ニ主務大臣又ハ地方長官ノ必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若クハ其護渡譲受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得ルト規程ガシテアリマス、而シテ地方長官ハ種繭審査會ノ組織アリテ、是ニ參スルモ主務大臣が制限ス場合ニ是ガ機關ナキハ如何、地方長官ガ種ヲ選擇スル場合ニハ民間カラモ審査委員ト云フモノヲ選定シテ、サウシテ相談ラシテ、此採擇研究等ラスルガ、主務大臣ハ之ヲ制限スル機關ガナリ、然ラバ大臣萬能ニアリテ、大臣ノスルコトハ此蠶種ニ付キマシテハ、何等ノコトヲサセテモ差支ナイト云フ意味デアルカ、農商務省萬能ニアリテ、此機關がナクテモ差支ナイト云フ御見込ナルカ、是亦御答辯ヲ煩シタイ、第十八原蠶種製造場ヲ日本ノ中央ニ一箇所、支所ニ二箇所、支所ニ二箇所デアリマス、諸君、我國ノ氣候、風土、地域ハ臺灣ヲ除キマシテ、北緯二十四度カラ五十五度マデノ間非常ナル長島國ニアリマス、此島國ニ於テ日本ノ中央ニ一箇所、支所三箇所ヲ置イテ、果シテ氣候、風土、例ヘバ山間種デアルトカ、平坦種デアルトカ、沿海種デアルトカ云フモノニ適合スルトヨロノ選定ヲ誤マランイ試験が出來ルノデアリマスカ、私ハ少クトモ蠶種統一ヲシマスニハ、全國數十箇所ニ於テ試験ヲ經テ、氣候、風土ニ適スルトコトノ試験場ヲ置イテ、此原蠶種ノ試験ヲシケレバ、蠶種統一ノ目的ヲ達シ得ラレナイト思フノアリマス、是ニ付テ政府ハ如何ニ責任ヲ負フノアリマスカ、是亦御明言ヲ願ヒタイト思フ、次ニハ第十一政府ハ蠶種統一、原蠶種製造所ノ設置ノ責任ヲ免レンカタメニ、此法案ニハ漠トシテ施行ノ方法ガ書イテナリ、補助規程其他ノコトハ、全部ノ責任ヲ地方長官ニ負ハシメテ、自ラ高見ノ見物ヲスルト云フコトデアル、此等ニ付テハ總アノコトガ法律ニ精シク書イテナリ、命令ニ讓ヌテアル、例ヘバ蠶病豫防ト云フ法律ガアリテモ、其命令が法律ニ無イコトマテ罰シタ例ハ澤山アル、故ニ政府ハ地方長官ニ責メスルモ、ナマリカ、又ハ繭ノ形ノ大小ニ依ルノデアルカ、升量ノ頗敷ニ依ルノデアルカ、或ハ出穀繭ナドニ依ルノデアルカ、是等ヲ査定スルノ内閣ニ於テハ之ヲ高見ノ見物シテ居テ、此問題ヲ傍観スルト云フ意デアルヤ否ヤ、是モ御明言ヲ煩ハシタイノアリマス、第十二ハ地方長官が種類ヲ制限スル場合ニハ、主務大臣ノ認可ヲ受ケテ始メテ效力ヲ生ズルモノナリマス、然ニ主務大臣ハ絶對ニ無限ノ權力ガアリテ、種類ヲ判定スルノ明ガアラバ、何ヲ苦シテ制限スルトヨロノ意デアルヤ否ヤ、是要ハナイト思フ、主務大臣が此蠶種ノコトニ付アハ、神ノ如ク總アノ物ヲ透キ徹シテ見ルダケノ明ガアルナラバ、何ヲ苦シテ地方長官ニ委任スルノ必要がアルカ、之ヲ地方長官ニ委シテ置クノハ、如何ノ次第デアルカ、是亦明答ヲ煩ハシタイノアリマス、第十三、政府ハ地方長官ノ選定セル種類ニ付キ、如何ナル形式ノ下ニ認可ヲ與ヘントスルノア

アリマスカ、例ヘバ種類ノ名稱ニ重キヲ措クノデアルカ、又ハ繭ノ形ノ大小ニ依ルノデアルカ、升量ノ頗敷ニ依ルノデアルカ、或ハ出穀繭ナドニ依ルノデアルカ、是等ヲ査定スル機關ハ中央ニ無イノハ如何ナル次第アルカ、例ヘバ我國ノ繭ハ此形ヲ長サフ一寸一分ト限ツタリ、繭ノ半バガ括レテ居ラケレバナラヌト云フ、共進會品評會ニ於ケル農務省アタリノ繭ノ査定方針ニナツテ居ル、其形狀其姿バカリ良イノヲ以テ優等賞ヲ出シテ居ルガ、伊太利、佛蘭西ニ於テハ先以テ蠶ノ纖維ト云フモノニ重キヲ措イテ居ル、形狀ノ如キハ別ニ構ハス、然ルニ日本ノ繭ハ形狀トカ、升量トカ云フコトニ重キヲ措イテ、之ヲ採ルト云フコトハ、ドウテアルカ、此點ニ付テハ、大臣ニ御答が出來マセヌケレバ、其局ニ當レル局長ノ答辯デモ宜シイノアリ、第十四ハ蠶種ヲ地方ノ選定會ニ於テ選定セルモノヲ、一々許可スルトセバ、蠶種ノ整理統一ハ地方々ニ限ラレ、全國統一ノ期ナキコト、現今ノ如クナルハ、全體政府ハ此地方主義、即チ鎮縣主義ノ實行ヲ以テ蠶種ノ統一ト看做スノデアルカ、現在ノ如ク地方々ニヤッテ居リマスレバ、島根、鳥取等ニ於テ斯ウ云ウ經驗ヲ有シテ居ル、又三重縣或ハ愛知縣等ニ於テモ其經驗ヲ有シテ居ル、地方々ニヤリベキモノナクシテ、我國ノ蠶業ハ日本ノ國ノ蠶業デアルテ、或縣或縣ノ蠶業デハナリ、例ヘバ荷造リシテ横濱ニ出レバ、ソレカラ先キハ日本ノ產物トシテ出テ行クノアリ、日本ノ商品デアル以上ハ、亞米利加ナリ歐羅巴ナリニ於テ五千万斤モ一億万斤モ現ニ亞米利加ニ參リマストヨロノ堅絲デ、歐羅巴カラハ百分ノ八十九アリマシテ、支那絲ガ百分ノ六、日本が僅カニ二百分ノ一、三四四、日本ノ絲ハ情ナイカ、一般ニ達シナイノアリマス、斯様ニ一般ニ達シナイ結果ハ一捆ニ付テ三四百圓ノ値段が廉イノアリ、注文ガアツタナラバ、ソレニ應ズルダケノ品物ガ出來ナケレバ、値段ハ折合ハナインテアル、故ニ現在ノ產額三於テハ四千万斤以上ト云フ產額ハ多イケレモ、値段ハソレダケ取レナシ能ハサルニ依リ政府ハ各府縣ニ共通スル種類ハ特別ノ場合ノ外許可ヲ與フル方針ナイト云フ結果ニナツテ居ル、結局數量ヲ多クスルト云フコトハ、實ニ此蠶種ノ統一ヲ圖ラナイヤメテアリマスカラ、當局者ハ之ニ對シテ如何ナル方法手段ヲ執ラレルカト云フコトヲ承リタイ、第十五、政府ハ地方長官が選定スルモ、主務大臣ノ認可ヲ得ザレバ、施行シ能ハサルニ依リ政府ハ各府縣ニ共通スル種類ハ特別ノ場合ノ外許可ヲ與フル方針ナリトセバ、寧ロ地方長官ニ制限權ヲ與フルノ必要がアルヤ否ヤト云フコトデアル、是ハ今私が云ウタ通リアリマスカラ、說明蛇足ハ省キマス、第十六、地方長官ニ是ガ選定ヲ委シ(簡單タク)ト呼フ者アリガ、斯ノ如キ重要ナ問題デアルニ拘ハラズセ當ニ遭ツテ、各工場ニ詰問ヲサレタ問題デアルガ、斯ノ如キ重要ナ問題デアルニ拘ハラズセ當問題ヲ研究シャウト云フノデ、此質問ヲスルノデアリマスカラ、モウ少シ御辛抱ヲ願ヒマス、第十六、地方長官ニ是ガ選定ヲ委シテ、府縣ヲ一地區トシテ制限スル場合ニハ從來甲縣ヨリ乙縣ニ供給シタル蠶種ハ、本法施行後ニハ乙縣ハ乙縣ト同一ノ種類ニ選定セルト云フコトヲ——私ハ質問ヲシテ、サウシテ政府ノ答辯ヲ求メテ天下ニ周知セシメテ、此問題ヲ研究シャウト云フノデ、此質問ヲスルノデアリマスカラ、モウ少シ御辛抱ヲ願ヒマス、局ハ今マテ祕密ニシテ置イテ、此案ヲ公ニサレナイ、殘念ナカラ講員ニ於テモ蠶絲業法案ナルモノハ、如何ナルモノデアルカ、又蠶絲ト云フモノハ我國ノ大產物デ、重要物産デアルト云フコトヲ——私ハ質問ヲシテ、サウシテ政府ノ答辯ヲ求メテ天下ニ周知セシメテ、此問題ヲ研究シャウト云フノデ、此質問ヲスルノデアリマスカラ、モウ少シ御辛抱ヲ願ヒマス、至ラン、其結果トシテ甲縣ノ技倅アル蠶種製造家ハ空シク其技倅ヲ振ブ餘地ナキニ反シ、乙縣ハ未熟ナル製造家ノ蠶種マデモ泣ク／＼甘んゼザルベカラザルニ至リ、結局甲乙甚シキ生産上ニ優劣ヲ來ス虧アリ、製品ヲ統一セントシテ、統一ノ實果ヲ贏チ得ザルノミ制限權ヲ與ナイノデアルカ、之ハ私ハ今言ツタ通りテ、說明ハ省キマス尙モウ一ツニツテ

アリマスガ、第十七、政府が地方補助政策ハ原蠶種製造所ヲ府縣ニ起サシメ、蠶種ノ需用供給ヲ府縣ノミニ強行セントスルニ外ナラナイノアル、其得失ハ果シテ如何デアルカ、畢竟未熟ナル蠶種製造ヲ強テ之ヲ飼育ヲ爲サシムルノ結果ハ、當業者ハ甚シキ失敗ヲ招クコトニナルノアリマス、政府ハ氣候、風土ニ適セザル蠶種ヲ供給シテ、其責任ヲ地方ニ嫁セントスルニアラザルナキカ、之ヲ御答辯ヲ願ヒタイ、モウ一つハ是デオシマヒテアリマス、第十八、政府ハ何ノ必要アリテ蠶絲業法案中ニ組合ノ規程ヲ殊更ニ設ケタノアルカ、組合ハ法人デアルカラシテ、組合ニ致セバ宜シイノアル、然ルニ此法案ヲ見マスレバ原蠶絲法ト、ソレカラ蠶病豫防法ト組合ト云フモノヲ三ツク付ケテ、丁度木ト竹ト草ト接イダヤウナ法律ヲ拵ヘタノアル、何ノ必要アリテ斯様ナ法律ヲ拵ヘタノアルカ、從來組合ニ對シテハ幾多ノ法律ガアツテ、生産ヲ助長スルガタメニハ產業組合ガアル、製品ヲ矯正スルタメニハ同業組合ノ設ガアル、然ルニ生産組合ヲ同業組合ニ混同シテ、今又茲ニ産業組合ノ規程ヲ此法律中ニ編入シタノハ、何ノ必要ガアルカ、恐クハ產業組合ハ宜イノアルト云フ輕信ヲシタ結果、此組合ニ入レタノデハナイカ、之ハドウ云フ譯カト云ヘバ、全國百六十万モアル養蠶家ト云フモノハ、農ノ片手間デアル、米麥ヲ作ル片手間ニヤル、本業モアルケレドモ小農が集シテヤダ居ルモノニ、一二重三重ノ組合ヲ拵ヘテ、强行シテ組合ニ入レト云フコトハ、一種ノ稅ヲ課スルノアル、繭ノニ二升、五升、一斗位取ル者モ、組合費ノ三十錢、五十錢ヲ課セラル、モノガアツテ、此組合ニ付テハ此蠶業上ニ付テハ全國ニ大失敗ヲシタ經歷ヲ持シテ居ル、現在ノ蠶絲業中ニ於ケルミ、詳細ノコトニ付テハ局長若クハ技術官デモ宜シウゴザイマスカラ、詳細ナル答辯ノアシテモ明カアル（ノウ／＼ト呼フ者アリ）良イモノモアリマスケレドモ、多クハ良クハ出テ居リマセヌ、是等ハ別ニ組合ヲシテ此蠶絲業法ノ下ニ組合ヲ置クノ必要ハ私ハナイト思フノアルカフ、是等ニ對シテハ大體ノ蠶業政策ニ在テハ當局大臣カラ答辯ヲ望ミ、詳細ノコトニ付テハ局長若クハ技術官デモ宜シウゴザイマスカラ、詳細ナル答辯ノアル方ガ、國家ノタメニ、又此目的ヲ達スル上ニ於テ、適當アルト信シマスカラ、好イ加減ノ答辯ヲセラレナイコトヲ切望致シマス、其代リ一ツ書ハ此處ニ置イテ參リマスカラ、之ニ據テ御答辯ヲ願ヒタク

○農商務大臣（男爵大浦兼武君） 唯今大變ナ數十箇條ノ御質問ガゴザイマシタガ、其蠶業政策ノ方針ト云フコトニ付キ、一言御答ヲ致シタイト思ヒマス（登壇）又ス聽ヘマセヌ「ト呼フ者アリ）我邦蠶業ノ方針ニ付キマシテハ、固ヨリ我邦ノ重要ナル產物ハ此問題ニアルト云フコトハ、申スマデモナク、斯業ノ發達ヲ圖ルハ、我邦ノ國力ノ增進政策ノ大部分デアリマスカラシテ、此政策ニ付テ考ヘル處ハ、即チ我邦ノ蠶絲業ト云フモノハ前途益々有望ナルモノニ達ヒアリマセヌ、因シテ其品質ノ改良ト相俟テ、繭ノ產額ノ増加ヲ圖ラナケレバナラスト云フノハ、最モ重大ナルコトデアル、又養蠶家ハ農家ノ副業トシテ經營セシムルノ方針ヲ失ハヌヤウニ致シ、小規模ノ飼畜耕地ノ増加ヲ圖リ、又桑園ノ改良培植ニ對シテハ、既往ノ施設ヲ續行致シマシテ、殊ニ將來ハ既設桑園ノ改良ニ最モ留意シナケレバナラスト信ジマス、次ニ此蠶種ノ統一改良ヲ期スル、ソレカラ此飼蓄及製絲技術ノ統一改良ヲ期スル、ソレヨリ今回提出致シマシタルトコロノ蠶絲業法ヲ以テ從來ノ蠶病豫防法ヲ改良シタル結果、積極的ノ施設ヲ爲サナケレバナラスト云フコト、其他蠶絲業ニ關スルトコロノ研究調査上必要ナル施設ヲ爲スコト、是ガ即チ蠶業政策ノ施設要項ト云フ考テゴザイマス、之が大體ノ本官ノ考テ、茲ニ御答ヲ致シマシテ、他ノ數十箇條ノ説明ハ政府委員ヨリ御答ヲ致シマス

○ト部喜太郎君 私ノ質問ハ唯一點アリマス、蠶絲業法ニ於キマシテ、蠶絲業者ト稱スルモノヲ列ベテアルノデアリマス、其中ニ蠶種ヲ製造スルト云フヤウナコトヲシナイ單純ノ養蠶ヲ業トスルト云フノが含マレテ居ルノアル、サウシテ此單純ノ養蠶ヲ業トスル者ニ對シマシテモ、蠶絲業法ノ第四條ニ依リマシテ、蠶病豫防法ニ關スルコロノ必要者ニ對シマシテモ、蠶絲業法ノ第四條ニ依リマシテ、蠶病豫防法ニ關スルトシナル規程ガアルノデゴザイマス、之ハ誠ニ必要ナルコトデゴザイマセウガ、元來養蠶ト申シマスルモノハ、唯今大臣ノ御演説ノ中ニモアリマシタ如ク、我國農民ノ副業アリマシテ、全國到ル所ドンナ小サナ農民デモ、春ハ勿論ノコト、秋夏ニ瓦ツテ年々何回トナク、此養蠶ヲヤシテ居ルノアルアリマスル、然ルニ此法案ヲ見マス、蠶業ヲシテ居ルノアルノデアリマスル、然ルニ此第十四條ニ依リテ蠶病豫防ニ關スル相當ノ設備ヲ講ジテ置クト云フコトハ、適當ノコトデゴザイマセウケレドモ、若シ其設備ニ背イタ場合ニハ、第三十九條ニ據テ五百圓以下ノ罰金ニ處スルト云フ、規程ガアルノデアリマスル、生絲ノ製造デアルトカ、或ハ蠶種ノ製造家ト云フヤウナモノヲ取締ル上ニ於テハ、刑罰ノ多キヲ以テ之ニ臨ムト云フコトモ、亦已ムヲ得ザルコトアリマセウケレドモ、全國一般ノ養蠶者ニ對シテ若シ此設備等ニ付テ命令ニ背クコトガアツナラバ、五百圓以下ノ罰金ニ處スルナドト云フ苛酷ノ法令ヲ以テ乞シナケレバナラスト云フ必要が何處ニアルノデアリマセウ、折角ニ蠶業ノ發達改良ヲ圖ルト申シナガラ、餘リニ其干渉ト云フモノが過ギテ、蠶業ノ改良發達ヲ圖ルタメニハ、警察ノ力ヲ借りリナケレバ、トウ／＼其目的ヲ達スルコトガ出來ヌ、養蠶ノ時期ニナリマスト、村ニ駐在ノ巡査ガ「サーベル」ヲ提ゲテ養蠶家ノ内ヘ住ツテ検査ヲシテ、其遣リ方ガイカヌ、間違ツテ居タナラバ、五百圓以下ノ罰金ニ處スルト云フノアルテ、僅ニ農民が傍ラニ僅カナ養蠶ヲスルト云フヤウナモノハ、勿論其設備等モ十分デナリノデアリマスル、ソレガタメニ警察ニ干渉セラレテ、其年取ツタコロノ収獲ト云フモノハ、悉ク此罰金ニ納メテ往カナケレバナラスト云フヤウナ奇態ナル現象ヲ來スト云フコトヲ本員ハ恐レルノデアリマス、蠶業ノ保護ト云フ事柄ハ一面ニ於テハ必要デアリマスルケレドモ、餘リニ干涉ニ過ギテ、遂ニハ警察ノ力ヲ借りリナケレバ、此日本ノ首先要ナル養蠶ノ業ノ改良發達ヲ爲スコトが出來ナイト云フコトハ、ドウ云フ趣意テアリマセウ、上ニ質明ナル農商務大臣ガアツテ、是ニ從フトコロノ關係ノ面々ガアルノデアリマスルカラ、相當ナル行政ノ方法ヲ以テ此全國ノ養蠶家ヲ保護シ、鞭撻スルト云フコトハ必要デアリマセウケレドモ、刑罰ヲ以テ之ニ臨ムト云フヤウナ嚴格ナル法律ヲ設ケテ、サウシテ是ニ臨ムト云フコトハ、如何ナル趣意テアリマスルカ、實ニ此案ト云フモノハ、蠶業ノ發達ヲ保護スルタメト云フ名前ノ下ニ制定セラレテアルケレドモ、其實蠶業ニ對シテ一大干渉、一大妨害ヲ試ムルモノアルト云フコトニ要フルノデゴザイマスルカラ、一般蠶業ニ臨ムニ此ノ如キ嚴酷ナル法律ヲ以テスル必要何レニアリヤ否ヤ、養蠶ヲ爲スモノハ各自分ノ利益ノタメニヤリマスカラ、此干渉ガナクトモ自分ノ利益トスルトコロノ蠶ノ立派ナル結果ヲ收メルト云フコトニ付テハ、十分働くノデアリマスカラ、警察マテニ干渉ラシナシテモ、此業ノ發達ヲ爲スコトニ付テハ、少シモ妨ハナイト思ヒマスルガ、現内閣ハ全國ノ蠶業ニマテ向ツテ武斷政治ヲ施サントスルノ考デアルカ、十分ノ説明ヲ請ヒマス（拍手スル者アリ）

（政府委員下岡忠治君登壇）

○政府委員（下岡忠治君） 武藤サンノ御質問ハ大分箇條ガ多ウゴザイマスルガタメニ、詳シク申上ゲマスト餘程時間ガ掛ラウト思ヒマスカラ、極ク要點ダケ申上ゲマシテ、詳細ノ點ハ委員會デ又申上ゲルト云フコトニ致シタウゴザイマス——之ヲ拜借致シマス（密ニヤツチャイカヌ）ト呼フ者アリ（笑聲起ル）第一ハ大臣カラ既ニ御答辯ガゴザイマシタ

ガ、第一ハ蠶種ノ統一ト云フコト此法案トノ關係ハドウアルカト云フ御問ノヤウデゴザイマスルガ、此蠶絲業法案ハ單リ蠶種ノ統一ト云フコトノミナラズ、蠶絲業ニ關スル全般ノコトヲ規程スルコトニナシテ居リマスカラ、從ツテ其法案中ノ第十八條ト第一二十三條トニハ蠶種ノ統一ニ關係ノアル規程ガゴザイマスケレモ、ソレ以外ニハゴザイマセヌ、若シ直ニ此蠶種統一ト云フ事柄ヲ強制シテ全國ニ行フコトアゴザイマスルト、或ハモウ少シ簡條が餘計ニ要ルダラウト思ヒマスケレモ、大體ニ於テ當分ノ間ハ任意デヤクテ往カウト云フ積リテゴザイマスルカラ、從ツテ此法案中ニ規程スル條項ハ、唯今申シマシタ第十八條ト第二十三條ノ二箇條ヲコトアゴザイマス、ソレカラ第二ハ統一整理ニ關スル目的ハ何年頃ニナツタナレバ、其目的ヲ達スルカト云フ御尋ノヤウデゴザイマスルガ、是ハマダ豫定が出來マセヌ漸進的ニヤルト云フ考テ居リマスルカラシテ、是ガ五年ナラ五年、七年ナラ七年ノ間ニ確ニソレダケノ目的ヲ達スルト云フコトハ、期限ヲ豫定スルコトハ出來マセヌ、併シ徐々ニ此度政府ノ計畫シタルトコロヲ行ツテ往クナレバ、追ニシテ統一整理非常ニ複雜アルカ、政府ハ冗費ヲ省クトコロノ意ナキヤ如何、斯ウ云フ御問デアリマスルガ、無論冗費ヲ省クト云フコトニ付テハ、政府ハ銳意是ニ務メテ居ル積リテゴザイマス、併ナガラ西ヶ原蠶業講習所ナリ、京都蠶業講習所ナリテヤクテ居ル仕事以外ニ、此度ノ目的ヲ達スルコトが出來ルデアラウト云フ積リテゴザイマス、ソレカラ第四、行政機關ガ蠶種統一ノ大ナル仕事ヲヤリマスニ付キマシテハ、ドウシテモ獨立專門ノ人ヲ集メタ機關ガ、中央ニハサウ云フモノ設ケナイノハドウ云フ譯アルカ、即チ法律案ノ第十八條トニハサウ云フ規程ガナイガ、其理由ハ如何、トスウ云フ御問ノヤウデゴザイマスルガ、中央ニモヤハリ設クル積リテアリマス、法律ノ規程ノ中ニハ其コトガ書イテゴザイマセヌガ、豫算ヲ御覽下サリマスト豫算ノ中ニモヤハリ、審查員ノヤウナ、斯道ニ堪能ナル人ヲ集メテ十分ニ審査研究等ヲシテ貰フト云フ積リテゴザイマス、第十、原蠶種製造所ノ設備ガ非常ニ少い、ソレデ政府ハ目的ヲ達シテ責任ヲ負ヒ得ルカ、斯ウ云フ御問ノヤウデゴザイマスルガ、單純ニ試験ヲスルト云フ上カラ言ヘバ、多イニ若クハナインアゴザイマス、併ナガラ習所が是ニヤシテノ間ニヤシタ事柄、事業ハ非常ニヤシテ居リマス、第一今日日本ノ各地ニ於ケル、或ハ中央ニ於ケルトコロノ蠶絲業界ニ於ケル技術者ト云フモノハ、大抵西ヶ原蠶業講習所ナリテヤクテ居ル教育事業ト試験研究ノコトヲヤクテ居ル以外ニ、更ニ原蠶種製造ノ仕事マテ此度テヤラサウト云フノハ、隨分無理ナ註文デゴザイマス、是ハモウ少し真相ノ御研究ヲ願ヒタウ感ズルノデゴザイマス、ソレカラ第五、第五ハ試験研究事業ニ對シテ設備ト人材トヲ要スルガ、政府ハ是ハドウ云フ風ニヤクテ居ル以外ト云フ積リテアルカ、是ハ餘程御著眼ノ良イ點ノ御問テゴザイマス（笑聲起）政府ニ於キマシテモ試験研究ト云フコトニハ非常ニ是カラカラ入レマス、ドウシテモ力ヲ入レ考ヲ持テ居リマス、是マデヤマシテ居ルニ違ヒナイケレモ、是ヨリハ一層此點ニ力ヲ入レヤリタイト云フ考テ、從ツテ此度始メヤウツル原蠶種製造所ニ於キマシテモ、試験研究ト云フコトニ非常ニ力ヲ入レテヤルト云フ考テゴザイマス、從ツテ人間モ單リ是マテ農商務ニ關係シテ居ルトコロノ人以外ニキマシテモ、廣く人才ヲ網羅シテ試験研究ノ仕事ヲ進メテ往キタイト云フ考テゴザイマス、第六ハ蠶病豫防ノコトテゴザイマス、蠶病豫防ト云フモノニ付テノ仕事ハ殆ド何ヲヤクテ居ルカラ分ラスト云フヤウナ攻撃的ノ御質問デアリマシタガ、是ハ詳シク申上ゲナイト御分リニナラヌ點ガアラウト思ヒマスカラ、委員會デ詳シク申上ゲマスルガ、要スル蠶病豫防ノ仕事ト云フモノハ、是マテハナカク金ヲ使テ居ルケレモ、相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ斷言が出來ルノデゴザイマス、委シイコトハ委員會ハ往ツテ十分申上ゲマス、ソレカラ第七、第七ハ政府デ持ヘルトコ

ロノ原蠶種ヲ強制配付スルニアラズシテ、任意ニ配付ラスルト云フコトデアルナレバ、地方ノモガ希望シナカダナラドウスルカ、斯ウ云フ御尋テゴザイマスガ、希望シナケレバ仕方ガゴザイマセヌ、併シ希望スルコトニ極マテ居ルト云フ考テゴザイマス、御安心ヲ願ヒマス、第八ハ官營蠶種ヲ排斥スルヤウナ結果ハナイカト云フ御尋テゴザイマス、是ハ惡ルイノヲ排ヘルベ、確ニ排斥スルニ極マテ居ルト思フ、故ニ政府ハ十分ニ種ノ善イ種類ヲ研究ラシテ、少シ簡條が餘計ニ要ルダラウト思ヒマスケレモ、大體ニ於テ當分ノ間ハ任意デヤクテ往カウト云フ積リテゴザイマスルカラ、從ツテ此法案中ニ規程スル條項ハ、唯今申シマシタ第十八條ト第一二十三條トニハサウ云フモノ設ケナイノハドウ云フ譯アルカ、即チ法律案ノ第十八條トニハサウ云フ規程ガナイガ、其理由ハ如何、トスウ云フ御問ノヤウデゴザイマスルガ、中央ニモヤハリ設クル積リテアリマス、法律ノ規程ノ中ニハ其コトガ書イテゴザイマセヌガ、豫算ヲ御覽下サリマスト豫算ノ中ニモヤハリ、審查員ノヤウナ、斯道ニ堪能ナル人ヲ集メテ承ヲ願ヒタイ、ソレカラ第十一、地方官ニ責任ヲ持タシテ自ラ高見ノ見物ヲスル積リノシテ、本所ニ箇所ト、地方ニ支所ヲニ箇所位設タルト云フ位ニヤクテ行クナラバ、先づ今日ノコロハ見込ラスルトスウ云フ積リヤゴザイマセヌ、ソレカラ第十一、地方官ニ制限權ヲ委任スル理由如何、是ハ其地方官ニ其地方々々ニ依シテ種類審查會等ヲ設ケテ、其土地ニ適應シタルモノヲ極メルト云フコトヲサスト云フ以上、先づ地方官ニ於テソレヲ極メサスト云フコトノ然ルベキガ、地方官ノ勝手ニ任カシテ置クト云フコトニシマスルト、或ハ弊害が起ルト云フコトガアリ得ルカラ、主務大臣ガ之ニ對シテ相當ナル監督權ヲ持ツテ居ル必要ガアラウト云フノア、主務大臣ノ認可ヲ得テ然ル後ニヤラウト、斯ウ云フ積リテアリマス、ソレカラ第十三、是ハ大分技術上ノ話ニ至リマスルガ、輔ノ大小ニ依ルトカ、或ハ升量ノ高數ニ依ルトカ、ドウ云フ標準ヲ以テ種類ヲ査定スルカト云フ御話テゴザイマシテ、伊太利ノ例ナドヲ御引キニヤクテ、イロノク御話ガゴザイマシケレモ、其位ノコトハ實ニ此方デモヤッテ居リマス、地方ニ於ケル共進會テアルトカイロノ場合ニ於キマシテ、ソレヲ形ニ小ト云フバカリヲ見テ居ル譯デモナ、此形狀ノ良シ惡シト云フコトハカリヲ見テ居ル譯デモナ、無論纖度モ見レバ、伸力強度モ見ル、各種ノ點ヲ綜合シテ繭ノ品質ヲ極メルノデゴザイスカラ、此點ハヨロシテ置キマス、第十四、鎮縣主義ヤナカラウカト云フ御尋アルヤウデゴザイマスガ、鎮縣主義ノ積リヤナインアリマス、殊ニ此原蠶種ノ制限權ト云フモノヲヤリマシテモ、是ハ其蠶種製造家ニ對スル束縛ニアリテ、一般ノ養蠶家ト云フモノハ決シテ束縛スルモノデハアリマセヌ、從ツテ養蠶家ハ信州カラ種ヲ買フナリ、福島カラ買フナリ、隨意三何處カラデモ買フコトが出來ルノア、假ニ試験ヲ行フシテ見テモ、其試験ハ蠶種製造家ニ對スル試験テゴザイマシテ、一般ノ養蠶家ニテ決シテサウ云フコトヲスル見込デナイカラ、從ツテ尙

更領縣主義デナイト云フコトハ明瞭デナケレバナラスト思じマス、第十五、共通ノモノ、種類——共通ノモノ、種類ハ一般ニ與ヘテモ宜イカト云フ意味ノヤウニ聽キマシタガ、ドウモ此意味ハ少シク分リマセヌガ、大體共通ノモノアレバ場合ニ依レバ一般ニ許シテモ宜イト云フ考デゴザイマスルガ、併シ此法案ノ第十八條ノ規程ハサウ度ニ初メカラ之ヲ大ニヤラサウト云フ積リチャウナインデアリマス、前モ申シタ通り大體ニ於テハ任意主義ヲ執ル、強制ト云フコトハ先づ原則トシテハヤラスト云フ主義ヲ執ル必要ガアルト云フ考デアリマスカラ、十八條ノ規程ノ適用ト云フモノハ初メカラ之ヲ廣クヤルト云フ考デアリマセヌカラ、從シテ御心配ナヤウナ點モ餘リナカリサウナヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ第十六、地方長官ニ許可權ヲ與ヘルト云フコトニシテ、主務大臣ガ之ヲ認可スルト云フコトニシテ置クト、益々不統一ニナルデハナイカト云フ意味ノヤウニ承リマシタガ、是ハ大抵前申上ゲタトコロト同シヤウナ趣意ヲ以テ答辯ヲ略シマス、第十七、地方ノ原蠶種製造所ニ對シテ補助ヲヤルト云フ政策ヲ執ルト云フコトハ、責任ヲ地方ニ嫁スルノチャナカ、斯ウ云フ意味ノヤウニ聽エマスルガ、之ハ第十一ノ答辯ニ對シテ高見ノ見物ヲシテ居ルデハナイカト云フ意味ト同シコトデ、責任ヲ地方ニ嫁スルノ趣意ヲゴザイマセヌ、第十八ハ蠶絲業組合ノコトデ、蠶種業法中ニ規定スルヤウニシタ理由ハドウ云フ譯デアルカ、斯ウ云フ御趣意ノヤウデアルガ、是ハ同業組合法ニ依シテ現在拵ヘテ居ル同業組合ヲアレヲ聯合會ニスルト云フコトニ付キマシテハ、今日當業組合法ノ規程ニ據シテ見レバ、縣内ノ組合ニナシテ居ル、ソレヲ或ル場合ニ於テハ三分ノ二以上ノ同意ヲ經テ其モノヲ聯合會ヲ強制スルト云フコト、及全國ニ於テ中央會ヲ一ヶ組織シヤウ、全ヶ同業組合法カラ離レタ特別ノ必要ナコトダケノ規程ヲ之ニ入レタ理由デゴザイマス、其中央會ヲ設ケタリ、或ハ聯合會ヲ或ル場合ニ於テ強制スルト云フ必要ガアルト云フヤウナ點ニ付テハ、先刻大臣カラ大要ノ説明ガゴザイマシタ、尙詳シクハ更ニ委員會ニ行シテ詳シク申上ダヤウト思ヒマス、武藤サンニ對スル答辯ハ先づソレデ大體終ヘト致シマスガ、ト部サンノ御問デゴザイマシタガ、蠶絲業法中ノ第四條ノ規程ハ一般ノ養蠶家ニマデモ是ハ適用ガアルノ養蠶家ニマデ此規程ヲ適用シテ、刑法上ノ罰則ヲ以テ之ヲ強制スルト云フコトハ、餘リヒドイデナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマスルガ、此規程ハ實ハ新ニ拵ヘタ規程デヤナイノデゴザイマス、蠶絲業法ト云フ中ニハ新ニ入リマシタケレドモ、現行法ニ此通りノモノガアルノデ、現行法アハ所謂蠶病豫防法——蠶病豫防法第四條ニ此通りノ規程ガゴザイマスノミナラズ、ドウモ此蠶病豫防ト云フ仕事ヲヤル上ニ付キマシテハ、多少其強制的ノ意味デアルト云フヤリ方ニシナイト、縱シハ是ハ養蠶家デアラウガ、ドウ云フ副業的ニヤシテ居ルモノデアラウガ、多少斯ウ云フ強制ノ規程ヲ以テヤラスト、ナカヤラス、實際ニ於テ第四條ノ設備ヲナスト云フコトハ、ドノ位ノコトヲヤルノデアルカト云フト、實ハ極メテ簡易ナ非常ニ迷惑が掛リ、或ハ金錢が掛ルト云フコトデナイ、即チ現今ヤシテ居ルコトデ、命令ノ定ムルトコロニ據リト云フ、其命令ハ極ク簡單ナモノデ、之がタメ大層養蠶家が迷惑ラスルト云フコトハナイ、而シテ自然ウツチャラカシテ置イア、知ラズニ憤レテサウ云フコトヲ行ハスト云フコトガアルタメニ、據處ナク此規程ヲ設ケテ居リマス、併シ此規程ニアル罰則ヲ設ケタメニ迷惑ヲ被フタト云フ弊ガアルカト云フト、ソレハナイ、從シテ現行法ヲ襲踏シテ此規程ヲ茲ニ入レルト云フコトハ、寧ロ當然ノコトニアラウト考ヘテ居リマス

○ト部喜太郎君 唯今ノ御答ニ付テ尙政府ハ現行ノ蠶病豫防法デハ未ダ十分デナ

イト云フノデ、新三斯ウ云フ法律ヲ作シテ、サウシテ此蠶絲業ノ主眼トスルトコロハ主トシ

テ蠶ノ種ト云フモノヲ嚴重ニ選ブト云フコトガ其主眼デアルヤウニ思ハレル、然ラバ銀行ノ蠶病豫防法時代ニ於テハ或ハ此一般ノ養蠶家ニ向シテモ多少ノ制裁ヲ加ヘルト云フ必要ガアツタノデアリマセウケレドモ、一般ノ養蠶家以外ニ蠶ノ種ヲ製造スルト云フコトニ付テ嚴重ノ規程ノ出來タ法律デアリマスカラ、現行ノ蠶病豫防法中最モ宜シカラザル一般ノ蠶業者ニ對スル制裁ノ規程ノヤウナモノヲ此度ノ改良シタ法律ノ上カラ全然除クノガ當然ト思ヒマスケレドモ、今政府委員ノ答ニ據リマスト、現行ノ法律ガ斯ウ云フ規程ニナシテ居ルノデアルガ、併シガラ之ヲ適用シテ迷惑シタ人ハ無イト云フノデアル、然ラバ此ノ如キ法律ハ今後ノ法律ニ於テモ無用ナモノト謂ハナケレバナラス、況ヤ現行ノ法律ニ一步ヲ進メタトコロノ最モ改良シタル法律ノ上ニ於テ、尙舊法ノ如キ無用ノ法令ヲ存シテ置イテ、動モスレバ無用ノ干涉ヲ蠶業者ニ試ムルト云フ弊ガアルト云フヤウナコトハ、全然削除スルガ當然デアルト思フ、ヤハリ此法律ニ於テモ尙此ノ如キ制度ヲ設ケテ置ク必要ガアルト云フコトデアリマスレバ、其必要ヲアルト云フ理由ヲ今少シク承ヌテ置キタイ

(政府委員下岡忠治君登壇)

○政府委員(下岡忠治君) 御答致シマスルガ、此蠶種ヲ改良シテ行クト云フヤウナコトニ關スル規程ノコトハ、第四條ト餘リ關係ガナイノデアリマス、第四條ハ一般ノ養蠶家ナリ、或ハ蠶種製造家ナリ、總テ養蠶ヲヤル者ニ對スル一般ノ規程デアリマシテ、蠶種製造ニ關スル規程モ多少變リマスケレドモ、大體ニ於テ現行ノ蠶病豫防法ト餘リ違シテ居ル譯デアリマセヌ、而シテ是ハト部サンノ質問ノ點カラ申シマスレバ、改良シタ法律案ヲ作ルト云フナラバ、現行法ノ缺點デアルト云フコトナラバ、ソレヲ變ヘルガ宜イト云フ點デアラウト思ヒマスガ、實質上ノ以外ノ點ハ其點デアリマセウ、成程是ハ惡ルケレバ變ヘル

積リテアリマスガ、政府ノ見ル所デハ此規程が必要デアル、既往十數年來ノ經驗カラ此規程ハ必要ニシテ、又之ガ無イト云フ場合ニハ蠶病豫防ヲ厲行スル上ニ、種々故障が起ルト云フ實驗上ノ點カラ、少クモ現行ノ規程ハ此儘置キタイト云フ考デアリマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

(「異議ナシ異議ナシ」「聲起ル」)

○管原傳君 本案ハ議長指名ノ十八名ノ特別委員ニ付託セシコトヲ希望シマス

○議長(長谷場純孝君) 議長指名ノ特別委員十八名ト云フコトニ御異議アリマスカ

ヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」「聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマス、其通り決シマス

○村松恒一郎君 議長、議長

○議長(長谷場純孝君) 何ノ發言アリマスカ

○村松恒一郎君 大浦農商務大臣ニ此機會ニ於テ御尋シタ

○議長(長谷場純孝君) 此法案ニ付テデスカ

○村松恒一郎君 此法案以外ノコトデアリマスガ、此際伺シテ置キタイ

(「無用イヤ」「呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 此法案以外ナバ、ソレく手續ヲ經テ御出シニナシタラ

ドウ

○村松恒一郎君 簡單テスカラ此際此席ニ於テ……

ウデス

○議長(長谷場純孝君) 此法案以外ナバ、ソレく手續ヲ經テ御出シニナシタラ

ドウ

○村松恒一郎君 簡單テスカラ此際此席ニ於テ……

ウデス

(無用日程外)ト呼フ者アリ
○議長(長谷場純孝君) 簡単ナコトデゴザイマセウケレドモ、議場ノ便宜上サウ云ノ例

ヲ開キマスト、將來甚ダ宜シクナイト思ヒマスカラ何カ御問ニナルコトガアルナラバ、成規ノ手續ヲ經テ御出シニナルが相當ト思ヒマス——日程第五、明治四十一年法律第十一號中改正法律案、第六、作業會計法中改正法律案、是ハ同一委員ニ付託ニナシテ

居リマスカラ併セテ委員長ノ報告ヲ致シマス——日程第五、明治四十一年法律第十一號中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長園山勇君

第五 明治四十一年法律第十一號中改正 法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(園山勇君登壇) ○園山勇君(登壇) 四十一年ノ法律第十一號ノ委員會ノ經過ヲ御報道致シマス、是ハ造

幣局ノ資金ノ擴張ニ要スル經費ヲ一般會計ニ繰入レベキトコロノモノ事業繰延ノタメ、之ヲ四十五年度マテ繰延フシヤウト云フトコロノ議案ニアリマスル、此委員會ニ於テハ其年度々々ニ於テ打切シテ更ニ案ヲ出スベキが相當ト認メマスケレドモ、此政府委員ニ於テハ將來會計豫算ト相伴フヤウニ使シテ、之ヲ打切シテ提出スルコトニスルカラ、此度ダケノトコロハ此案ノ通り四十五年マテ繰延ハシタイト云フ請求デゴザイマス、政府ニハ宜シク注意ヲ與ヘテ、是ハ即チ政府委員ノ請求通り此法律ヲ認メルコトニ致シマシテ、滿場一致ヲ可決致シマシタ、其次ニ

○議長(長谷場純孝君) 日程第六、作業會計法中改正法律案第一讀會ノ續

第六 作業會計法中改正法律案(政府提 出) 第一讀會ノ續(委員長)

(報告) ○園山勇君 次ニ此造兵寮ノ報告ヲ致シマスル、是ハ是迄ハ三十三万圓アリマシタ

ケレドモ、追ニ事業ノ擴張ニ從ヒ今十万圓ヲ資金ヲ増シタイト云フトコロノ議案ニアリマスル、是モ亦滿場一致ヲ以テ十万圓ヲ増スコトハ至當デアラウト議決致シマシタ、此段此報告ヲ致シマス

○菅原傳君 唯今報告ニナリマシタニ案共直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り可決セラレントコトヲ希望シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第五、明治四十一年法律第十一號中改正法律案、省略シテ、而シテ委員長ノ報告通りニ可決シタイト云フ動議ガアリマス、先づ之ニ御異議ハアリマセヌカ (賛成タク)ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 先づ御異議ガナケレバ(笑聲起ル) 直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部案全部ヲ讀題ニ供シマス

明治四十一年法律第十一號中改正法律案 確定議

○作業會計法中改正法律案 確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ愈ニ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ(笑聲起ル) 直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部案全部ヲ讀題ニ供シマス

第七 東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル 法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

〔東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル法律案〕 第一讀會ノ續(委員長)

○漆昌巖君 極ク簡単ゴザイマスカラ、當席カラ御報告致シマス、此東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル法律案ハ委員會ヲ二度開キマシテ、政府委員ノ出席ヲ求メ、十分ニ説明モ聽キマシタ、此八丈島ハ地租が今迄物品納テ地租ヲ納メ來シテ居ツタ、然ル

ヲ同島ノ經濟ノ状態ヲ鑑ミ、金納が便利デアル、斯ウ云フコトデソレテ黃紹一反ト云フモノヲ一圓七十二錢五厘ニ換算ブシテ、是迄ノ反物テ納メ來タモノヲ將來ハ金納デ翌年ノ五月マデニ納メル、斯ウ云フ簡單ナル法律テゴザイマス、故ニ滿場異議ナク原案ノ儘

確定致シマシタ、此段御報告致シマス

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ讀題ニ供シマス

○菅原傳君 東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル法律案

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御意見モナイヤウデアリマスカラ、二讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り確定セラレントコトヲ望ミマス

○菅原傳君 別ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル法律案

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議モナイヤウデアリマスカラ、二讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り確定セラレントコトニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 東京府管内八丈島ノ地租ニ關スル法律案

○議長(長谷場純孝君) 别ニ御異議モナイヤウデアリマスカラ、委員長ノ報告通り確定致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、委員長ノ報告通り確定致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト呼フ者アリ

ス、殊ニ後來ノ青年者ハ是迄ニナイトコロノ名譽ヲ擧ヒ、又是迄ニナイトコロノ責任ヲ持ツヤウニナリマシタ譯アリマス故ニ、此法案ヲシテ即チ教育ノ程度ニ於キマシテモ、亦勞働ノ程度ニ於キマシテモ、身體ヲ健全ニナスベキ義務ヲ實行スルヤウニシマスノハ、諸君ノ御希望ノコト、存シマスノデ、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ得テ、本案ノ通過スルヤウニ願ヒ

タイト思ヒマス、委細ハ委員會ニ於テ申上ゲマスガ、尙議長ノ御承諾ヲ得テ、細ニ演説ヲスルタメニ此理由書ハ即チ三十九頁ニ亘ツテ居ルトコロノ、各國ノ例モアリ、又如何ニ此大切ナ問題デアルカト云フコトモ之ニ籠ツテ居リマスカラ、是ハ議長ノ御許ヲ受ケテ速記ニ載セテ、天下ニ告知スルコトニ致シマス

〔參照〕
未成年者飲酒取締ニ關スル法律案理由書
未成年者ノ身體各部ノ組織ハ未タ完全セサルヲ以テ之ヲ成年者ニ比スレハ「アルコール」ノ侵害ヲ受クルコト一層多大ナリ其ノ最患フヘキモノハ全國幾萬ノ學生カ飲酒ノ爲其ノ目的タル學業ヲ成ス能ハサルニアリ是レ文明諸國カ幼者ノ飲酒取締ニ關シ特ニ嚴重ナル規定ヲ設クル所以ナリ

英國ニ於テハ千九百一年八月十七日議會ヲ通過シ其ノ翌年一月一日ヨリ施行セル幼者酒類賣買取締法アリ又米國ノ如キハ千八百八十二年ヨリ千九百二年ニ至ク二十年間ニ各州相前後シテ未成年者ニ酒類ヲ販賣スルコトヲ禁止スルノ法律ヲ實施シ千八百九十年ヨリ千九百年ニ至ル十年間ニ於テ合衆國ノ人民ノ壽命ハ平均四年十十分ノ一ヲ伸暢セリトハ米國教育協會ハント氏ヨリ菊池前文部大臣ヘノ通信ニ確報セラレタル所ナリ飲酒ノ害タル大要ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 心臓ノ神經又ハ筋肉ヲ刺戟シテ之ヲ衰弱セシムルノミナラス其ノ筋質ヲシテ脂肪ニ變セシメ終ニ其ノ作用ヲ完全ニ營ムコト能ハサランシム

二 血管ハ酒精ノ作用ニヨリテ變質シ血壓ノ爲ニ往々破裂スルコトアリ彼ノ卒中

三 身體衰へ從テ肺臓ヨリ呼出スル炭酸ノ量ヲ減シ炭酸ノ排泄減レハ即チ體内ノ酸化作用妨害セラル其ノ結果體溫減シ身體衰フ

四 腎臟實質ヲ脂肪性ニ變シ老廢物ヲ排除スルコト能ハサランシム

五 肝臟ヲ肥大セシメ常形ノ一倍トナスニ至ルノミナラス膽汁ヲ變シテ綠色トナシ甚シキハ黒色トナスニ至ル

六 消食器ノ粘膜ヲ害シ血管ノ彈力性ヲ變弱セシム

七 血管運動神經ニ麻痹ヲ起スヲ以テ血管劇張シ血行活潑トナリ諸器管ハ

時ニ興奮シ從テ脳ノ判力ヲシテ錯雜ナラシメ興奮ノ爲諸器管活潑トナリシ後尙飲酒ヲ持續スレハ先ツ少腦侵入爲ニ筋肉ヲ指揮スルノ力減弱シ僅ニ増進シタル體溫忽チ減退シ身體寒冷トナルヘシ

故ニ孰レノ點ヨリ觀察スルモ酒ノ人身ニ有害無益ノ毒物タルヤ明ナリ吾人國民ハ將來ノ良民トナルヘキ未成年者ニ對シテ最愛ナル親權ヲ施行シテ監督養成スヘキ大責任ヲ負擔スレハ法律ニ依リ未成年者ノ飲酒ヲ禁スルハ決シテ干涉ニ過ルモノニアラ

サルナリ偶々本案實行ノ困難ヲ説ク者アルモ其ノ困難ハ獨リ本案ノミニ限ラルヘキニアラス若之ヲ口實トシテ本案ノ廢棄ヲ唱フル者アラハ是レ強姦盜盜キサルノ故ヲ以テ之ヲ自由ニ放任スヘシト説キ其ノ取締ノ全廢ヲ主張スル者ト何ソ擇フ所アラム是レ其ノ制定ノ必要ヲ認メ本案ヲ提出スル所以ナリ

〔參照〕

茲ニ歐米各國ノ法典中ヨリ幼者ノ飲酒禁止ニ關スル條項ヲ摘載シ以テ參稽ニ資セムトス

○カリホルニア州ノ法律

「カリホルニア」州ハ千八百九十二年三月十一日ヲ以テ幼者飲酒禁止法ヲ制定年以下ノ幼者ヲ來客トシテ出入セシメタル飲酒店料理店等ノ店主ハ失行罪トシテ之ヲ處分シ二百圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罰金ヲ賦納シ得サル者ハ地方監獄ニ於テ百日以上、禁錮ニ處ス

第一條 満十八年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者竝ニ満十八年以下ノ幼者ヲ來客トシテ出入セシメタル飲酒店料理店等ノ店主ハ失行罪

第二條 此ノ法律ニ抵觸スル法律規則ハ總テ之ヲ廢棄ス

第三條 此ノ法律ハ議定ノ當日ヨリ有效ナルモノトス

○メリ蘭ド州法律
酒類取締法

第八十九條第二項 満二十一年以下ノ幼者年齢ヲ偽テ成年者ト稱シ酒類販賣者ヨリ酒類ヲ購求シタルトキハ該幼者ヲ一圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ五日以上三十日以下ノ禁錮ニ處ス

同第三項 満二十二年以下ノ幼者ノ爲メ酒類ヲ購求シタル者ハ四十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ三十日以上九十日以下ノ禁錮ニ處ス

○英國幼者酒類賣買取締法(明治三十四年八月十七日可決)
茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 千八百八十六年ニ發布セラレタル幼者酒類賣買取締法ハ之ヲ廢棄ス

第二條 酒類賣買營業免許ヲ有スル者酒類ノ何タルヲ問ハス情ヲ知テ満十四年以下ノ幼者ニ之ヲ販賣若ハ交付スルトキ又ハ人ヲシテ該幼者ニ販賣若ハ交付セシムルトキハ四十志以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ五磅以下ノ罰金ニ處ス但シ購買者ノ住宅又ハ執業勞働所ニ於テ販賣若ハ交付スル場合茲ニ之ヲ公布セシム

合竝ニ酒類賣買ノ場所以外ノ地ニ於テ消費セラレムカ爲メ一平(二百五十ニ及ブ)以上ノ分量ヲ器物ニ入レ該器物ニ栓ヲ爲シ且封印シテ販賣若ハ交付スル場合ハ此限ニ在ラス

何人タルヲ問ハス酒類ヲ得ヘキ目的ヲ以テ酒類ヲ販賣セラレ若ハ交付セラレ又ハ配賦セラル場合ハ情ヲ知テ満十四年以下ノ幼者ヲ使ニ送ルコトヲ禁ス此ノ禁ヲ犯ス者ハ前項ノ罰金ニ處ス但シ販賣交付又ハ配賦セラルヘキ酒類若ハ前項ノ如ク器物中ニ封印セラレタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 酒類賣買營業免許ヲ有スル者ハ酒類ノ交付者トシテ家族、僕婢、雇人等ヲ使用スルコトヲ得

第四條 此ノ法ノ下ニ訴訟ヲ起リタル場合ニ於テハ此ノ法ハ英國ニ於テハ千八百七十二年ヨリ同七十四年マテ施行セラレタル酒類免許條例、蘇格蘭ニ於テハ千八百二十八年ヨリ同九十七年マテ施行セラレタル酒類免許條例、愛蘭ニ於テハ千八百二十三年ヨリ千九百年マテ施行セラレタル酒類免

第五條 此ノ法ヲ稱シテ千九百一年ノ幼者酒類賣買取締法ト云フ
トヲ問ハス總テ之ヲ栓ト稱スルモノトス

封印ト稱スルハ其ノ物ノ何タルヲ問ハス之ヲ破壊セサレハ栓ヲ引抜ク能ハサル
モノヲ云フ

第六條 此ノ法ヲ稱シテ千九百一年ノ幼者酒類賣買取締法ト云フ
英國幼者酒類賣買禁止法案ノ提出

英國衆議院議員「クロムビー」氏ヨリ同院ニ提出セル幼者酒類賣買禁止法案
ハ一千九百一年二月十九日ヲ以テ同院ノ議事日程ニ上り同三月二十日其ノ
第一讀會ハ開カレタリ

是ヨリ先キ同法案ハ「サ一、ヨセフ、リース」氏ヨリ議院ニ提出スヘキ苦ニテ氏ハ
多年衆議院議員トシテ議場ノ經驗ニ富ミタル老練家ナルカ故ニ議院内外ノ禁

酒主義者ハ深ク氏ニ望ラ嘱シ氏モ亦法案提出ノ件ニ付大ニ斡旋スル所アリシ
カ不幸ニシテ病ニ罹リ到底同案提出ノ如キ重大ナル責任ヲ負擔スヘカラサルモ
ノアリ依テ氏ハ後繼者トシテ「クロムビー」氏ヲ推薦シ同主義者モ亦一般ニ之ニ
同意ヲ表セルヲ以テ氏ハ則チ「クロムビー」氏ニ後事ヲ託シ政界ノ煩悶ヲ避ケ暫
ク閑地ニ靜養セリ

前國務大臣「アスクス」氏 「ドーグラス」氏 「ヘンリー、フーラー」氏
「サ一、エドワード、グレー」氏 「ハリー」氏 「サ一、ヨセフ、リース」氏
「サ一、ウイリアム、ボーザウース」氏 「トリトン」氏 「エー、トーマス」氏
「ウイリアム、ジョンストン」氏 「ピール」氏

一千九百一年三月二十日午後零時ヲ以テ禁酒法案ノ第一讀會ハ開カレ
タリ、此日傍聽席ハ開會前既ニ満員シ近年稀ナル盛況ヲ呈シタリシカ原案
提出者「クロムビー」氏ハ満堂喝采拍手ノ裡ニ起立シテ左ノ如ク演説セリ
「クロムビー」氏 滿堂ノ諸君ヨ、余ハ原案提出ノ榮譽ヲ得タルコトヲ諸君ニ感
謝スルト同時ニ豫メ諸君ニ懇望スヘキ一事カアル、其レハ外ノ事テハナリ元來此
ノ原案提出者ハ知名ノ人物アナイ（謙遜タト呼フ者アリ）提出者カ有名ノ人
士テナカト云フテ併テ原案其物ヲ輕々見ラレヌ様豫メ希望ス、搦テ是ヨリ本
法律案ニ就キ鄙見ヲ開陳セんニ抑ニ本案ハ三箇ノ性格ヲ具備シテ居ル、即チ
適合シテ居ルコト第三ニ本案ハ禁酒主義ヲ溫和ニ應用セルモノナルコト、此ノ
三箇アルカ溫和ナル禁酒主義ニ對シテ本院中何人モ反対ハアサルヘシ、否ナ
溫和ナル禁酒主義ハ満堂諸君ノ歡迎セラル、所ナラン、（ヒヤー）回顧スルニ
第一ニ本案ハ黨派問題ニ非サルコト（拍手喝采）第二ニ本案ハ時勢ノ必要ニ
適合シテ居ルコト第三ニ本案ハ禁酒主義ヲ溫和ニ應用セルモノナルコト、此ノ
法律ヲ以テ一國ノ酒類ヲ全滅シ根絶セヨト説キ後者ハ酒類ノ賣買ノコト竝ニ
之ヲ飲ムトカ飲マストカ云フ様ナコトハ一切法律ヲ以テ干涉スヘカラスト論シ雙
方共實ニ非常ノ極端主義ヲ固執シタリシカ爾來世ノ風潮全ク一變シテ復タ斯
ル極端主義ヲ主張スルコトヲ止メ雙方共ニ中正穩和ノ意見ニ依テ酒類問題題ヲ

解説スルニ至レリ余輩ハ國家ノ爲之ヲ祝セサルヲ得ス、（ヒヤー）今ヤ酒類問題ハ抽象的討論問題ノ範圍ヲ脫シテ具體的實行問題トナリ、倫理道德問題ノ域ヨリ進ミテ國家生存問題トナリ（喝采拍手）然リ酒類問題ハ國家ノ生存ニ大關係ヲ有スル實際問題ナリ、請フ試ニ世界進化ノ大勢ヲ見ヨ、列國間ニ於ケル生存競爭ハ年一年ニ激烈ノ度ヲ加フルニアラスヤ、此ノ激烈ナル競爭場裡ニ立テ優勝ノ位置ヲ占ム者ハ必ス心身ノ強健ナル國民ナルヘク、劣敗ノ悲境ニ落入ル者ハ體格ノ軟弱ナル人民ナラム是レ明々白々ナル自然ノ數ニシテシテ酒ハ人ノ體格ヲ軟弱ナラシムル諸原因中實ニ其ノ絶大ナルモノニ非スヤ（大喝采）果シテ然ラハ酒類害毒ノ蔓延ヲ防禦セムカ爲相當ノ取締ヲ爲スハ國家當然ノ義務ナルヘシ（大喝采）夫レ然リ酒類ノ害毒ハ之ヲ防止セサルヘカラス、但シ現代人民ノ飲酒ニ由テ生スル所ノ細大ノ弊害ハ嚴重ナル取締ニ依テ一切之ヲ掃蕩シ得ヘキカ之ハ一ノ疑問テアル、激烈嚴密ノ法律ヲ設テ之ヲ厲行スルトキハ現代國民飲酒ノ弊害ヲ悉ク除却スルコトヲ得ヘキヤ否、之ハ疑問テアル、而シテ余ハ今茲ニ之カ解釋ヲ試ミサルヘシ、余ハ過去現在ノ國民ニ就テハ茲ニ喋々セサルヘシ、然リト雖將來ハ吾人ノ眼前ニ在リ今ノ幼者ハ將來ノ國民ナリ、此ノ將來ノ國民ハ今日ニ比シ數層激甚ナル世界列國生存競爭場裡ニ立タントスル者ナルカ故ニ彼等ノ心身ヲ強健ナラシムルヘ彼等ノ父母タル吾人人ノ一大責任ニ非スヤ（喝采拍手）次代國民ノ體格ヲ完全ニ發育セシムルハ當代ノ國民タル吾人ノ一大義務ニ非スヤ（喝采拍手）果シテ然リトセハ吾人ハ酒類害毒ノ幼者ニ傳染スルヲ豫防セサルヘカラス、是レ余輩同志者カ本案ヲ提出シテ諸君ノ贊同ヲ求ムル所以ナリ（拍手大喝采）、而シテ酒類ニ關スル現時ノ狀態ハ如何、彼ノ飲酒店及酒類販賣店ノ形況ハ如何、余固ヨリ是等ノ營業其ノ物ヲ非難スルニアラス亦店主其ノ人ヲ責ムルニ非ス、是等ノ營業者中ニハ寧ロ尊敬スヘキ人モ少ナカラス然レトモ次代ノ國民トシテ國家ヲ負擔スヘキ少年子弟カ是等ノ營業店ニ出入スルコトニ關シテハ余輩絕對的ニ反対セサルヲ得ス（ヒヤー）、精確ナル統計ニヨレハ是等酒店ニ往來スル者ノ中ニテ少ナクモ其ノ一割四分ハ幼者ニシテ是等ノ幼者ハ其ノ初メハ父兄ノ爲メニ酒ヲ買フニ過キサルニモセヨ屢々酒店ニ出入スルニ從ヒ幼者自カラ飲酒ノ惡習ニ感染スルコトナキヲ保シ難シ、否ナ酒氣ヲ帶ヒタル少年ヲハ吾人ハ途上ニ於テ往々目撃スルコトアリ、尤モ從來ノ法律モ幼者ノ飲酒ヲ禁止セサルニ非ス即チ酒類ノ營業者ハ其ノ販賣ノ場所ニテ飲用セラル、モノト知リタル以上ハ幼者ニ賣渡スコトヲ禁止セラレ、酒三醉タル幼者ハ警察官ニ依テ拘留ノ刑ニ處セラル、去レト此ノ現行法ハ實地格別ノ效用ヲナサ、ルト云フ其ノ次第ハ成ルホト、販賣ノ場所ニ於テ幼者ハ飲用スルコトヲ得サレトモ其ノ場所以外ノ地ナラハ幼者ハ現行法ノ下ニテ自由ニ酒ヲ飲ミ得ルナリ、又酒ニ醉タル少年ハ現行法ニヨリ拘留ノ處分ヲ受タルト雖之ハ酩酊セル少年カ警察官ニ反抗シテ其ノ命ニ服セサル等ノ如キ場合ニ限ラレタルニ似タリ故ニ余ハ現行法ヲ評シテ同法六幼者ノ飲酒ヲ制止スヘキ效力ヲ有セサルモノト断言スルヲ憚ラス、是レヨリ先キ政府ハ幼者飲酒弊害ノ漸ク大ナラムトスルヲ見テ即チ調査委員ヲ任命シ少年ニ酒ヲ賣ルコトニ據テ生スル所ノ弊害ノ度如何ヲ審査セシメタルニ其ノ審査ノ結果ハ幼者ニ酒ヲ賣ルコトノ大害アル事實ヲ充分ニ證明セリ、但シ二十餘名ノ委員ハ自他ノ間多少見解ヲ異ニシ從テ其ノ調査報告書モ多數者ノ意見及少數者ノ意見ナルニ分レ即チ

多數者ハ酒ヲ幼者ニ賣ル者ト酒買ヒニ幼者ヲ連れノ父母トハ併セテ罰スヘント報告シ少數者ハ酒ヲ幼者ニ賣ル者ノミ罰スヘシト報告セリ、少數者ハ更ニ附記シテ曰ク「法律ハ輿論ニ適合セサルヘカラス而シテ幼者ニ酒ヲ買ハシタル父兄ヲ罰スルハ輿論ノ贊成ヘル所ニ非ス故ニ酒ヲ賣リタル者ノミヲ罰スレハ足レリ、去レハ父母ヲ罰スヘキヤ否ノ件ニ付テハ多數少數ニ派ノ調査委員其ノ説ヲ異ニスト雖酒類ヲ賣リタル者ヲ罰スルノ件ニ關シテハ一派其ノ意見ヲ同フシテ而シテ亦實ニ全國輿論ノ贊成スル所ナリ此ノ故ニ余輩同志者ノ提出セル本案ハ全國輿論ノ後援ヲ得且政府ノ贊助ヲ得タルモノト云フヘシ何トナレハ調査委員ハ政府ノ代表者ニシテ而シテ本案ハ同委員全部ノ意見ニ符合スレハナリ、且又本案カ本院ニ提出セラレテヨリ以來或ハ個人ノ資格ヲ以テ或ハ團體ノ資格ヲ以テ本院ニ宛テタル哀訴請願書並ニ各議員ニ宛テタル勸告狀ハ其ノ數實ニ幾千萬通ナルヲ知ルヘカラス而シテ其ノ大部分ハ本案ノ通過ヲ懇請スル者ニ在ラサルハ無シ亦以テ本案カ輿論ヲ代表セルノ明證ナラム（大喝采）若夫レ本案ノ各條項ニ至リテハ其ノ字句中多少ノ修正ヲ要スルモノモアルヘシ本案ノ提出者ハ一字一句ノ修正ヲモ施スヘカラナル議案トシテ之ヲ本院ニ提供セルニハ非ス、即チ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトヲ禁止セムトスルヲ以テ本案ノ目的トナス（ヒヤク）此ノ目的ヲ達スルコトヲ得ハ即チ足レリ、仰キ願クハ本案ニシテ此ノ目的ヲ貫徹セシメヨ（拍手大喝采）

「タリーハ」氏ノ演説ハ之ニテ終丁シ夫レヨリ討論ニ入ル

「ホーブウース」氏（保守黨議員）余ハ本案ヲ贊成ス、法案ニ對シテ熱心ナル同憲ヲ表ス

「ゼームソン」氏 余ハ本案ニ反対ナリ、併シ酒屋ト何カ關係カアルカラ反対スルト見做レテハ迷惑ナリ、余ハ飲酒店ニハ何等ノ關係ヲ有セス（此トキ「ジョンズトン」氏横合ヨリ皮肉ノ質問ヲ試ミ「火酒釀造所」ニモ關係ナキヤト尋ネタリ、之ニハ「ゼームソン」氏頗ル閉口シタリト云フ、其ノ譯ハ氏ハ「ダブリン」市ニ於ケル有名ナル火酒釀造所ノ大株主ナレハナリ）余ハ決シテ自カラ爲メニスル所アツテ反対スル譯テハナイ、本案ハ結構ナ者テアルカモ知ラヌカ併シ本案ニ由テ却ア祕密ニ酒ヲ飲ム弊害カ增長シヨウト思ハレル

「タリーハ」氏 余モ亦本案ニ反対ス、尤モ余ハ幼者ノ飲酒スルコトヲ大ニ嫌惡スレトモ併シ法律ノ力ニ依テ此ノ弊害ヲ制止スルコトハ到底出來マイト思フ、是レ余カ本案ニ反対スル所以テアル

「ルーカス」氏 本案ニ反対

「トムキンソン」氏 本案ニ贊成

「フローリー」氏 本案ニ贊成

「ゾーシヨーネシー」氏 本案ニ贊成（同氏ハ愛蘭ヨリ選出セラレタル少壯議員ニシテ熱心ナル贊成演説ヲ爲シテ議場ニ非常ノ感動ヲ與ヘタリ）

「ミドルモーア」氏 斯ル法案ニハ反対セサルヲ得ス、斯ル法案ハ破壊セサルヘカ

「ス」

「ハルデン」氏 本案ニ贊成（此トキ政府委員席ニ在リタル内務次官「コリング」氏ハ直ニ起テ左ノ如ク答弁セリ）

「コリング」氏（内務次官）内務大臣「リッチー」氏カ所勞ノ故ヲ以テ本日出席セラレサルハ余ノ深ク悲ム所テアル、併シ大臣カ居ラサルニモセヨ余ハ大臣ニ代リ責任ヲ以テ答辯スルコトカ出來ル、元來政府ハ本案ニ對シテ干涉スルコトヲ欲セス、本案ノ取捨ハ全ク之ヲ議員各自由意思ニ放任スルコトニ政府ハ決定シテ居ル、本案ニシテ第二讀會ヲ開クコトトナラハ内務大臣ハ其ノ時意見ヲ述ヘラルテアロウカ併シ同大臣ハ本案ノ幼者年齢十六年ヲ改メテ満十四年トナスヘシト豫テ申テ居ラレタ、又本案第二條中ニ「情ヲ知テ」ナル文字ヲ挿入スヘシト申シテ居ラレタ、此ノ意見ハ余モ同感アル（コリング）氏ハ斯ク答辯シテ演説ノ局ヲ結ヒタリシカ其ノ終局ニ當リテ暗々裡ニ本案ニ對シテ同情ヲ表セサルカノ如キ口調ヲ漏シタリ

「ハーコート」氏（自由黨前内閣ノ内務大臣）唯今内務次官ハ其ノ答辯ノ未ニ於テ酒類問題ニ關シ法律ニ依テ幼者ヲ制裁スルハ不都合テアルカノ如キ口調ヲ漏サレタルカ併シ若之ヲ不都合ナリトスレハ普通教育問題ニ關シ法律ニ依テ幼者ノ就學ヲ制裁スルコトモ亦不都合ト云ハネハナラス、法律ニ依リ幼者ノ就學ヲ督促スルハ何人モ是認スル所ナルト共ニ法律ニ依テ幼者ノ飲酒ヲ制止スルコトモ亦之ヲ認スヘキ筈アル、故ニ余ハ政府カ本案ニ對シテ出來得ル限り便宜ヲ與ヘ以テ本案ノ成立ヲ贊助セムコトヲ希望ス、又余ハ本案ヲ法律調査委員會ニ付託セムコトヲ希望ス、何トナレハ本案ヲ全院委員會ノ議ニ付スルトキハ本案ハ恐ラク破碎スヘケレハナリ

「バートレー」氏（倫敦市ノ選出議員）余ハ大ニ本案ニ反対ス、余ハ本案ノ破滅ヲ熱望ス

「サンドーワン」氏 余ハ本案ニ大賛成ナリ余ノ選出地ナル愛蘭ノ人民ハ其ノ政派宗派及階級ノ何ニタルヲ問ハス國民一般ニ本案ニ對シテ深厚ナル同情ヲ表シ本案ニ通過ヲ熱望セリ（拍手喝采）本案ヲシテ當期議會ヲ通過セシムルハ全ク政府ノ責任ニ屬ス而シテ余ハ此ノ責任ヲ完フセムコトヲ政府ニ向テ熱望スル者ナリ（滿場拍手大喝采）

（「サンドーワン」氏ノ演説ヲ了リタルハ午後五時過ナリシカ廳ア原案提出者ナル「クロンビー」氏ヨリ討論終結ノ動議ヲ提出セリ）

○討論終結

議長 唯今「クロンビー」氏ノ提出セル討論終結ノ動議ニ就キ採決スヘシ

討論終結ヲ可トスル者 四百〇七人

討論終結ヲ不可トスル者 三十一人

「否」下云フ者 五十人

「否」上云フ者 ○採決

議長 次ニ第二讀會ヲ開ク可キヤ否ヤニ付キ採決スヘシ、之ヲ開クヲ可トスル者ハ則チ可ト云ロ之ヲ開クヲ否トスル者ハ則チ否ト云フヘシ

「可」ト云フ者

三十人

「否」下云フ者 五十人

「否」上云フ者 三十人

依テ本案ハ非常ノ大多數ヲ以テ第一讀會ヲ開クコトニ確定セラレタリ
是レヨリ先キ議長カ第一讀會ヲ「可」トスル者過半數ナリト宣告スルヤ本案ノ反對者ナル「ゼームソン」「タリーハ」諸氏ヨリ異議ヲ提出シテ「否」トスル者多數ナリト主張シ之レカ爲メ議場ハ一時混雜ヲ極メタルカ議長カ最後ニ「可」「否」兩派議

員ニ起立ヲ命シ衆議院書記官ヲシテ其ノ頭數ヲ精算セシムルニ及ヒ前記ノ如キ結果ヲ得タルナリ

次ニ「クロンビー」氏ヨリ本案ヲ法律調査委員ニ付託スヘシトノ動議ヲ提出シ全院委員會ノ議ニ本案ヲ付託コトノ不可ナル理由ヲ簡明ニ演説シタリシカ、時怡モ閉場時刻ニ接近セルヲ以テ當日ヘ之ニテ閉場セラレタリ

又右「可」三百七十一人ト「否」五十四人ヲ政黨ニ類別スレハ左ノ如シ

「可」三百七十一人 此ノ内譯

自由黨出席議員全部

百三十二人

「ヴィクトリア」(幼者年齢十六年以下)

罰金二十磅以下

「否」五十四人 此ノ内譯

保守黨

四十二人

「タスマニア」(幼者年齡十二年以下)

罰金十磅以下

「否」五十四人 此ノ内譯

國民黨

五十三人

「トロニダット」(幼者年齡十六年以下)

罰金五磅以下

但シ自由黨ノ出席議員中「否」ニ賛成シタル者ハ一人モ無ク、則チ自由黨員ハ全部譽テ禁酒法案ノ贊成者ナリト知ルヘシ

又右表中ノ統一黨ハ「チャムバレン」氏「デボンシャイア」公等ト共ニ曾テ自由黨ヨリ分離セル一派ニシテ國民黨ハ則チ愛蘭ヨリ選出セラレタル議員ノ團體ナリ又自由黨ノ名士ニシテ前内閣大臣タリシ「ハーロート」「ジョン・モーリー」「バンナーマン」「アスケス」「チャール・ジルク」等ノ諸氏ハ當日打揃フテ議場ニ出席シ熱心ナル拍手喝采ヲ以テ禁酒派ノ演説ヲ歓迎シ且採決ノ際「クロムビー」氏ノ動議ヲ贊成セリ、然ルニ本案ニ反対シテ第一讀會ヲ開ク「否」トセル保守黨員以下五十四名ノ議員中ニハ知名ノ人士皆無ニシテ平凡ノ議員ノミナリシハ當日ノ「奇觀ニアリキ

「ハーロート」氏ハ「グラットストン」氏終身ノ親友ニシテ「グ」氏ト共ニ議場ニ出

入セルコト數十年、其ノ間「グ」氏ト共ニ内閣ニ列セシコト前後數回ニ及ヘリ、自由黨中届指ノ老政治家ナルカ禁酒法案第一讀會ノ終了セル後或ル人ニ語テ曰ク「クロンビー」氏ノ演説ハ余カ議院ニ於テ多年聽聞セル演説中最モ善美ナルモノ、一ナリト、以テ「クロムビー」氏演説ノ價値ヲ察スルニ足ラム

英國諸領地ノ酒類販賣ニ關シ幼者ニ酒類ヲ販賣スル者ヲ罰スル法律ハ大同小異ナルヲ以テ茲ニ之ヲ概括シテ幼者ノ年齢ト罰金ノ額ノミヲ略記スレハ左ノ如シ「ノバスコシア」(幼者年齢二十一年以下)

「プリンス・エドワード島」(罰金五十弗)未成年者

「オントリヨー」(罰金五十弗以上五十弗以下)未成年者

「クリベック」(罰金二十弗、酒類販賣營業六箇月停止、再犯ハ罰金

五百弗、酒類販賣免許狀沒收)未成年者

(罰金二百弗、罰金ヲ納付シ得サレハ禁錮二週間)

「セーチルス」(幼者年齡十五年以下)罰金十留、再犯以上ハ罰金二十留
 「タスマニア」(幼者年齡十二年以下)罰金十磅以下
 「トロニダット」(幼者年齡十六年以下)罰金五磅以下
 「タスマニア」(幼者年齡十六年以下)罰金二十磅以下
 「ヴィクトリア」(幼者年齡十六年以下)罰金二十磅以下
 「クロムビー」(幼者年齡十二年以下)罰金十磅以下
 「アルコール」ハ神經及脳髄ヲ刺激シ殊ニ知覺感情ノ司府タル後腦部ハ「アルコール」ノ胃液中消化ニ必要ナル「ペプシネ」ノ作用ヲ妨害ス
 「アルコール」ノ血管ニ入ルヤ血液中ノ酸素ヲ奪取シ水分ヲ減少シ蛋白質ヲ凝固セシメ以テ血液ノ作用ヲ失ハシム
 「アルコール」ハ肝臓腎臓心臓等ニ危險ナル脂肪變化ヲ起シ肺臓ヲ侵害ス
 「アルコール」ハ神經及脳髄ヲ刺激シ殊ニ知覺感情ノ司府タル後腦部ハ「アルコール」ノ爲損傷セラルコト最大ナリ
 故ニ何等ノ點ヨリ觀察スルモ酒ノ人身ニ有害無益ノ毒物タルヤ明ナリ或ハ飲酒家ノ肥満ヲ見テ健康ノ表顯ナリト云フ者アレトモ事實ハ正シク反對ニシテ其ノ肥満ハ即チ不健康ノ證左ナリ蓋シ不淨ナル脂肪ノ凝積スルハ身體ニ害アリテ益ナケレハナリ或ハ酒ハ體溫ヲ増進スト云フ者アレトモ是亦誤謬ノ見解ナリ酒ヲ飲ムトキハ其ノ刺激ニ由リテ體内ノ溫度外部ニ發出スルヲ以テ皮膚ノ神經ハ體溫ノ增加ヲ感ス
 雖其ノ實外部ノ增加ハ内部ノ減少少ニ由來スルヲ以テ全體ノ溫量ハ寧ロ幾分カ減退スルモノトス或ハ又酒ハ勇氣ヲ鼓舞シ氣力ヲ振興スト云フ者アレトモ其ノ鼓舞振興タルヤ恰モ鞭ノ馬ニ於ケルカ如ク鞭ヲ加ブル愈激シケレハ馬ハ唯益疲勞スルノミ
 要スルニ酒類ハ個人又ハ社會ヲ害スル各種ノ毒惡物中ニテ其ノ最タルモノナリ故ニ國家ハ之ヲ禁止スヘキ義務ヲ有ス國既ニ阿片ヲ禁スル以上ハ酒類亦固ヨリ之ヲ禁セサルヘカラス蓋酒ノ害毒ハ阿片ニ比スレハ數倍甚シキモノアレハナリ之ヲ病

患ニ喻フレハ阿片ハ「コレラ」、「ベスト」ノ如ク酒ハ肺病、黴毒ノ如シ肺病黴毒ノ害毒ハ「コレラ」、「ベスト」ノ如ク顯著ナラサレモ其ノ陰險頑強ニシテ而カモ流毒範圍ノ廣大ナルハ「コレラ」、「ベスト」等ノ遠ク及フ所ニアラス法律ニ依リ未成年者ノ飲酒ヲ禁スルハ聊カ干涉ニ過ルノ嫌ナキ歟ト疑惑スル者アレトモ現代ノ老者ト現代ノ未成年者トノ關係ハ一家親子ノ關係ト毫モ異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督養成スヘキ大責任ヲ負擔スルモノナリ此ノ理ヲ了解スレハ前記ノ疑惑ハ自カラ水解セム或ハ又幼者禁酒法實行ノ困難ヲ説ク者アレトモ其ノ困難ハ獨り同法ニ限ラルヘキニ非ス若シ之ヲ實トシテ同法ノ廢棄ヲ唱フル者アラハ是強霸盜盡キサルノ故ヲ以テ之ヲ自由ニ放任スヘシト説キ賣淫絶ヘサルノ故ヲ以テ之カ取締ヲ全廢スヘシト唱フル者ト何ソ擇フ所アラム茲ニ北米合衆國諸州ノ法典中ヨリ幼者ノ飲酒取締ニ關スル條項ヲ摘載シ以テ參稽ニ資セムトス

「アイフワ」州ノ法律

第二千四百三條 父母又ハ後見人若ハ醫者ノ保證狀ヲ有セサル幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ二百圓ノ罰金ニ處ス但シ罰金ノ一半ハ該罪狀ノ告發者ニ賦與シ一半ハ該罪狀發生地ノ學校基金中ニ寄贈スヘキモノトス

「オレゴン」州ノ法律

幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者竝ニ幼者ヲ出入セシメタル飲酒店、料理店等ノ店主ハ百圓以上エハ百圓以下ノ罰金ニ處シ一年以内ノ禁錮ニ處ス右ノ場合ニ於テハ酒類販賣者又ハ店主ノ有スル營業免許狀ハ之ヲ官廳ニ沒收ス

幼者年齢ヲ詐リテ満二十一年以上ノ成年者ト稱シ酒類ヲ購求シタルトキハ該父母若ハ後見人又ハ醫師ノ酒類購求委任狀ヲ有セサル幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ四十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ三十日以上三十日以下ノ禁錮ニ處ス

「イリノエス」州ノ法律

幼者年齡ヲ詐リテ満二十一年以上ノ成年者ト稱シ酒類ヲ購求シタルトキハ該父母若ハ後見人又ハ醫師ノ酒類購求委任狀ヲ有セサル幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ四十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ三十日以上三十日以下ノ禁錮ニ處ス

「ニューハンブシャ」ノ法律

飲酒店ノ店主又ハ酒類ヲ差出ス宴席ノ席主等ハ滿十六年以下ノ幼者ヲ出入セシメ又ハ列席セシムコトヲ得ス此ノ條項ニ背反シタル店主、席主等ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

「フロリダ」州ノ法律

第二千六百三十五條 葡萄酒、麥酒等苟モ多少ノ酒精ヲ含有スル飲料ヲ幼者ニ賣與シタル者ハ無免許密賣罪ニ依リ之ヲ處分ス

「アラバマ」州ノ法律

第三千五百二十一條 酒精販賣ヲ免許ヲ出願スル者ハ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與セサルヘキ旨ニ嚴正ニ宣誓シタル誓約書ヲ當該官廳ニ差出スコトヲ要ス

紐育州ノ法律

酒稅法第三十條 會社又ハ個人ニシテ酒類販賣ヲ營業スル者ハ滿十八歳以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與スルコトヲ得ス

第三千九條 「ミヅリ」州ノ法律
西「ウヲルシニア」州ノ法律
父母或ハ監督者又ハ後見人ノ記名セル酒類購求認許狀ヲ有セサル幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタルモノハ失行罪トシテ之ヲ處分シ百圓以上四百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四千二百四十五條 何人ニ限ラス幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ失行罪トシテ之ヲ處分シ二百圓以下ノ罰金ニ處シ三箇月以下ノ禁錮ニ處ス
第四千二百四十六條 飲酒店ノ營業者幼者ヲ登店セシムルトキハ失行罪トシテ之ヲ處分ス
又同州ノ酒類取締法中ニ左ノ一節アリ
該誓約書中ニハ該出願者満二十一年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタルトキハ償金七千圓ヲ差出スヘキコトヲ記載セシムルモノトス
又該誓約書中ニハ該出願者ノ販賣シ又ハ給與シタル酒類ヲ飲用シタル者ノ醉狂ニ由リテ生シタル一切ノ損害ハ該出願者總テ之ヲ賠償スヘキコトヲ記載セシムノトス

「ウイスコンシン」州ノ法律
「ミスキッピ」州ノ法律

第千五百九十四條 飲酒店營業者、酒類販賣者其ノ他何人タルトキハス幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ之ヲ給與シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ三十日以下ノ禁錮ニ處ス

「モンタナ」州ノ法律

第千五百九十七條 飲酒店營業者若シ幼者ヲ登店セシムルトキハ四十圓以上一千圓以下ノ罰金ニ處シ六箇月以下ノ禁錮ニ處ス
第千六百八條 滿二十一年以下ノ幼者其ノ年齡ヲ詐リテ成年ナリト稱シ飲酒店ニ入りタル場合ニ於テ年齡詐稱ノ證據ヲ發見シタルトキハ該幼者ヲ四十圓以下ノ罰金ニ處シ三十日以下ノ禁錮ニ處ス

「第五百四十九條 飲酒店又ハ酒類ヲ販賣スル料理店ノ營業者若シ幼者ヲ登店セシムルトキハ失行罪トシテ之ヲ處分ス

「五百四十一條 何人ニ限ラス幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與セムトキハ其ノ父母又ハ監督者ノ認可ヲ受ケサルヘカラス若シ其ノ認可ヲ經シテ之ヲ販賣シ又ハ給與シタルトキハ販賣者又ハ給與者ハ幼者ノ醉狂ニ由リテ生シタル金錢上若ハ財產上等ノ損害ヲ賠償シ且失行罪ノ處分ヲ受クヘキモノトス

英國希望協會ハ幼者酒類賣買禁止ニ關スル意見書一百萬部ヲ印刷シテ之ヲ全國ニ配布シ大ニ輿論ヲ喚起シタリシカ同書ノ主意ハ幼者ヲ使トシテ酒類ヲ購求スルトキハ幼者ノ身體上及精神上ニ間接ニ直接ニ非常ノ惡影響及ボス

モノアルカ故ニ幼者ヲシテ酒類ヲ購求セシムルコトハ斷然禁止セサルヘカラスト云
フニ在リ

「ヨニーピール」氏ノ提出議案 衆議院議員「ヨニーピール」氏ハ千八百八十六年ハ議會ニ於テ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトヲ禁止スルノ法案ヲ提供セリ當時議院内外ノ同志者ハ右法案ヲ通過セシメンカ爲メ大ニ運動シタレトモ不幸ニシテ議會ノ委員會ニ於テ修正セラレタリ即チ原案ニ於テハ酒類賣買ノ場所ニ於テ該酒類ノ消費セラルヘキ場合ニ限リ之ヲ幼者ニ賣ルコトヲ禁止スルコトトセルカ故ニ幼年ハ父兄等ノ爲ニ酒類賣買テ之ヲ持チ去ルコトヲ得ルナリ斯ル不完全ノ修正案ニテハ固ヨリ有志家ノ目的ヲ達スルコトヲ得サルヲ以テ禁酒同盟會希望協會其他ノ同志者ハ相一致シテ貴衆兩院ノ各議員ニ意見書ヲ送リ「ヨニーピール」氏ノ原案ヲ復活セシメントヲ請求シタレトモ遺憾ナカラ貴衆兩院ハ委員會ノ修正案通り可決セリ

即チ左ノ如シ

酒類取締法(修正案)千八百八十六年可決

酒類販賣營業免許ヲ有スル者情ヲ知テ滿十三年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣リ之ヲ其賣買ノ場所ニ於テ使用消費セシムルトキハ二十志以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ四十志以下ノ罰金ニ處ス

右ノ法律ハ議會ニ於テ可決セラレタル後直ニ施行セラレタレトモ格別善良ナル結果ヲ奏スルコトヲ得サリキ何トナレハ該法律ノ下ニ於テ幼者ハ酒ヲ買フタル場所ニテ飲ムコトヲ禁セラルニ止リ他ヘ携帶シ行クコトハ自由ナルカ故ニ幼年飲酒禁止ノ大目的ハ斯ル不完全ナル法律ニ依テ決シテ之ヲ達スルコトヲ得サレハナリ

各團體ノ運動 希望協會、禁酒同盟會、幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ千八百九十二年十月更ニ一百萬部ノ禁酒意見書ヲ印刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨニーピール」氏ノ原案ヲシテ議會ヲ通過セシメントセリ然レトモ今回モ亦議會ニ於テ否決セラレタリ「ハルデン」氏ノ議案 同氏モ亦千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ

雖モ是等運動アツアルヲ以テ「ヨニーピール」「ハルデン」諸氏ノ法案ハ不幸ニシテ破レタリト一方ニ於テ政府及議會ニ向テ禁酒運動ヲナスト同時ニ他方ニ於テハ酒屋運動ヲ開始シ全國ノ酒類販賣營業免許ヲ有スル者ヲ訓戒シテ幼者ニ酒ヲ賣ルヘカラル理由ヲ説示セリ

禁酒運動ノ反對者 由來實業家ト稱スルノ徒ハ唯是レ我田引水的私利我慾ノ輩ノミ僕等ノ眼中ニハ唯金錢アルノミ彼等ハ牽強附會ノ說ヲ捏造シテ内務大臣及議會ニ宛テ幼者ニ酒類ヲ販賣スルモ敢テ弊害ナキ旨ヲ具申シタレトモ固ヨリ一顧ノ價値タモナキモノトス

調査委員會 禁酒運動益激甚ヲ加フルニ從テ政府モ之ヲ默視スルヲ得ス即チ調査委員二十四名ヲ任命シテ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトニ由テ生スル所ノ弊害ノ度如何ヲ調査セシムルコトトナレリ

調査委員會ノ報告 該報告書ハ實ニ數千頁ノ記事ヨリ成ルモノナルカ各員悉ク幼者ニ酒ヲ賣ルノ弊害ヲ證明スルモノニ非サルハナシト云フモ敢テ過言ニ非ス又該報告ハ多數者ノ意見ト少數者ノ意見ト甲乙二種ヨリ成ルモノニシテ二種共ニ滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣ルヲ以テ弊害アルモノト認定セリ但シ委員二十四人ノ内四名丈ケハ多數者及少數者ノ意見ニ反對シ幼者ニ酒ヲ賣ルモ全ク弊害ナシトノ意見ナリシカ此四名ハ即チ例ノ實業家中ヨリ選拔セラレタル委員ナレハ彼等カ弊害ナシト言フモ無理ナラサル次第ナリ扱又右甲乙二種ノ報告ハ左ノ如シ

(甲) 多數者報告

酒類賣買ノ場所ニ於テ該酒類ノ使用消費セラルト否トヲ問ハス滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトハ一切之ヲ禁止スヘシ又該年齡ノ幼者ニ酒類ヲ買ニ造リタル者ハ之ヲ賣リタル者ト同罪ニ處スヘシ

(乙) 少數者報告

酒類賣買ノ場所ニ於テ該酒ノ使用消費セラルト否トヲ問ハス滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトハ一切之ヲ禁止スヘシ即チ見ルヘシ少數報告者ハ幼者ヲ酒買ニ造リタル父兄ヲハ之ヲ賣リタル者ト同罰ニ處スルノ意見ヲ観クト雖モ幼者ヲシテ酒ヲ買ハシムルノ弊害ハ少數者多數者ノ共ニ等シク認定スル所ナル

法律改正ノ必要 前記二十四名ノ調査委員ハ最も公平ニ撰拔セラレタル者ニシテ而カモ其報告右ノ如クナルカ故ニ從來ノ幼者酒類賣買取締法ヲ改定シテ一層嚴重ナル法律ヲ設クリノ必要ハ朝野ノ均シク是認スル所トナレリ英國ノ諸領地ニ於ケル法律 幼者禁酒運動ハ歐洲大陸諸國ニ於テモ將ニ熾シナラント然トモ外國ノ禁酒形況記事ハシテ他日ニ譲リ本誌ニ於テハ專ラ我英國ニ關スル禁酒運動ノ成否如何ヲ敍述セんニ我屬地及殖民地ノ現況ハ左ノ如シ

「アンチグワ」ノ法律

千八百七十九年「アンチグワ」ニ於テ制定セラレタル法律ハ左ノ如シ 酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣リタルトキハ二十
ノ大ニ減少セルカ爲メ自然勤學兒童ノ數ニ増加ヲ來シタリ一小習慣ノ改良ト雖モ其成績此ノ如ク著明ナルカ故ニ若シ吾人ノ熱望スル如ク幼者ノ飲酒ヲ全
嚴禁シ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトヲ禁止スルニ於テハ其功蹟ノ偉大ナル實ニ測り知
ルヘカラサルモノアルヘシ、又前記諸團體ヲ初メ有志諸士ハ爾來「ロンドン」、「マ
ンチエスター」、「リバプール」、「ダブリン」等ノ諸都會ラ中心トシテ禁酒運動ヲ繼

「ベルムダ」ノ法律

千八百八十年「ベルムダ」ニ於テ制定セラレタル法律ハ左ノ如シ
酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者カ飲用スルヲ知テ之ニ酒類ヲ
賣ルコトヲ得ス

前項ヲ犯シタルトキハ二十磅以下ノ罰金ニ處シ並ニ該罪犯ノ告發ニ關スル一
切ノ費用ヲ該犯罪者ヨリ徵收ス又再犯ノ場合ニ於テハ前記罰金及告發入費
ノ外ニ酒類販賣免許ヲ二箇月以内停止シニ犯ノ場合ニ於テハ酒類販賣營業
ヲ禁止ス

「ケーブ、コロニー」ノ法律(千八百八十二年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十五年以下ノ幼者カ飲用セシメタルモノハ
シ又ハ飲用セシメタルトキハ十磅以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ四十磅以下ノ
罰金ニ處ス

「セーロン」ノ法律(千八百九十二年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者又ハ飲食店ノ店主タル者滿十五年以下ノ幼者ニ
酒類ヲ賣リ之ヲ飲用セシメタルトキハ十磅以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ二十
年以下ノ罰金ニ處ス

「フオーランド」島ノ法律(千八百九十二年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十五年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣リ之ヲ消費セシム
ルトキハ十磅以下ノ罰金ニ處シ且初犯ニ於テハ酒類販賣ノ免許ヲ六箇月間
停止シ再犯以上ニ於テハ該免許ヲ取上クヘキモノトス又該免許ヲ有スル者ニシ
テ旅店飲食店等ノ營業者ナルトキハ再犯以上ニ於テハ該營業ヲ二年以上五
年以下停止ス

何人タルヲ問ハス滿十二年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ若クハ交付シ之ヲ持チ
去ラシメタルトキハ五磅以下ノ罰金ニ處ス

「ガムビア」ノ法律(千八百九十四年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣リ之ヲ飲用セシメ
タルトキハ二十志以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ四十志以下ノ罰金ニ處ス

「チプロータ」ノ法律(千八百八十五年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ兒女ニ酒類ヲ賣リ之ヲ飲用セシメ
タルトキハ二十五ベセタ以下ノ罰金ニ處シ再犯ニ於テハ五十ベセタ以下ノ
罰金ニ處シニ犯ニ於テハ百二十五ベセタ以下ノ罰金ニ處ス

「グレナダ」ノ法律(千八百九十六年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十二年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣リ又ハ人ヲシテ賣
タルトキハ五十磅ノ罰金ニ處ス

人島ノ法律(千八百九十七年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十四年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ若クハ交付
シ又ハ人ヲシテ販賣シ若クハ交付セシメタルトキハ四十志以下ノ罰金ニ處シ再
犯以上ハ五磅以下ノ罰金ニ處ス

人島ノ布告(千八百八十三年發布)

何人ニ限ラス滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣スルコトヲ得ス

「マニトバ」ノ法律(千八百九一年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類供給シタルトキハ二十
五弗ノ罰金ニ處シ他ノ命ヲ受テ酒類實地供給シタル者モ同罪ニ處ス

罰金ヲ納付シ得サル場合ニ於テハ五十磅ノ罰金ニ處シ之ヲ納付シ得サル場合ニ於テハ五十磅ノ
罰金ニ處シ之ヲ納付シ得サル場合ニ於テハ二十箇月ノ禁錮ニ處シ酒類販賣ノ免
許ヲ沒收ス

海峽殖民地ノ法律(千八百七十八年制定)

何人タルヲ問ハス滿十五年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣リ之ヲ飲用セシメタルモノハ
十留ノ罰金ニ處シ再犯以上ニ於テハ二十留ノ罰金ニ處ス

「ニュー、ブランズワーグ」ノ法律(千八百九十六年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者未成年者ニ酒類ヲ販賣シ若クハ給與スルトキハ
十弗以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ二十弗以下ノ罰金ニ處ス(他ノ命ヲ受ケテ
酒類ヲ實地販賣シ若クハ給與セル者モ亦同罰ニ處ス)

「ニュー、フーンドランド」ノ法律(千八百九十五年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十八年以下ノ少年ニ酒類ヲ販賣シ若クハ交付
スルトキハ五十弗以下ノ罰金ニ處ス

「ニュー、サウス、ウェールズ」ノ法律(千八百九十八年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ若クハ交付
シシムルトキハ十磅以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ四十磅以下ノ
罰金ニ處ス他ノ命ヲ受テ酒類ヲ實地販賣シ若クハ交付セル者モ亦同罰ニ處ス

「ニュー、ゼーランド」ノ法律(千八百八十二年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ供給シテ之ヲ飲用
セシムルトキハ十磅以下ノ罰金ニ處シ他ノ命ヲ受テ酒類ヲ實地供給セル者モ亦
同罰ニ處ス

初犯ニ於テハ酒類販賣免許ヲ六箇月間停止再犯以上ニ於テハ該免許ヲ沒收
ス

南部豪洲ノ法律(千八百八十年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十五年以下ノ兒女ニ酒類ヲ賣リ之ヲ飲用セシム
ルトキハ二十五志以上五磅以下ノ罰金ニ處ス

豪洲ノ法律(千八百八十五年制定)

飲食店ノ店主又ハ酒類小賣營業人タル者滿十四年以下ノ兒女ニ酒類ヲ販
賣供給シタルトキハ一磅以上五磅以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ二磅以上十磅以
下ノ罰金ニ處シ且ツ罪犯告發ノ費用ヲ納付セシム

○管原傳君　本案ハ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君)　本案ハ議長指名ノ委員九名ニ付託スルト云フコトニ御異
議ハアリマセカ
○議長(長谷場純孝君)　〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

事訴訟法中改正法律案、第十乃至第十一ハ同一委員ニ付託サレタル議案ナルニ依
リ、合セア委員長ヨリ報告ヲ致シマス、委員長戸水寛人君

第九

民事訴訟法中改正法律案（横山金太郎君外二名提出）

第一讀會ノ續（委員長）

民事訴訟法中改正法律案（横山金太郎君外二名提出）

確定議

第十

民事訴訟法中改正法律案（豊増龍次郎君外三名提出）

第一讀會ノ續（委員長）

民事訴訟法中改正法律案（豊増龍次郎君外三名提出）

確定議

第十一

裁判所構成法中改正法律案（豊増龍次郎君外三名提出）

第一讀會ノ續（委員長）

民事訴訟法中改正法律案（豊増龍次郎君外三名提出）

確定議

〔法學博士戸水寛人君登壇〕

○議長（長谷場純孝君）先づ日程第九、及第十八便宜上一括シテ議題ト致シマス、日程ノ第九、民事訴訟法中改正法律案、及日程第十、民事訴訟法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

○法學博士戸水寛人君 諸君、民事訴訟法中改正法律案ト云フノガニ出テ居ル、一つハ横山君カラ提出セラレテ居ルノアリテ、マツノ方ハ豊増君カラ提出ニナツテ居リマス、此一ツノ内容ハ既ニ御存ジアリマセウカラ 別ニ申シマセヌガ、委員會ニ於テ政府ニ向シテ質問シタ、之同意ガアルカドウカト云フコトヲ問ヒマシタトコロガ、同意スルト云フコトデゴザイマスカラ、委員會ニ於テモ別ニ異議ガナカッタノゴザイマシテ、確定シタ、確定シタケレドモ、併ナガラ民事訴訟法ノ改正法律案ガ一ツ同ジャウナモノガ出ルノハ文面ノ上カラ云ッテ不便デアルカラ、合併シテ確定スルト云フコトニナツテ居ルノゴザイマス、ソレカラ次ノ第十一番目ノ裁判所構成法中改正法律案、之付テ申シマスガ、政府委員ハヤハリ異議ハナインゴザイマス、委員會ニ於テモヤハリ異議ガナインゴザイマスカラ確定シタノデアル、ケレドモ……

〔問題外下呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君）問題外ニアリマセヌ、報告ダケハ十一マデシマス、採決ハ九、十ヶヲ一括シテ採決スルト云フコトヲ宣告シタ

○法學博士戸木寛人君 ソレデ此異議ハナイト云フコトニナツテ居リマシタガ、微細ノ點ニ付テ修正ヲ加ヘタラ宜イト云フコトデアル、ソレハ此原案ノ中ニ「第五章 司法年度ノ下及休暇」ヲ削ルト書イテアリマスガ、是ハ不必要デアルカラ、此事柄ヲ抹殺シテシマツテ、サウシテ次ニ「第二百一十七條乃至第二百三十條削除」ト云フコトガ書イテゴザイマスガ、此趣意ニハ悉ク同意デゴザイマスケレドモ、斯ウ云フ文面ノ例ハ是迄ナインゴアルカラ從來ノ文面ニ照ジテ、一ツ一ツ削除ト云フコトニシタラ宜シイ、即チ「第二百一十七條削除、第一百一十八條削除、第二百一十九條削除、第二百二十條削除」斯ウ云フ風ニ別々ニ掲ゲルト云フコトニ決定シタ次第ゴザイマス、諸君ノ所ニ配付ニナツテ居ル報告書ニハサウナイカモ知レマセヌケレドモ、是ハ書記ノ誤カ、然ラザレバ印刷ノ誤デゴザイマスカラ、左様御了承アランコトヲ希望致シマス、是デ報告ハ終リマシタ

○議長（長谷場純孝君）先づ日程第九、民事訴訟法中改正法律案、日程第十、民事訴訟法中改正法律案ヲ一括シテ議題トナシ、即チ一讀會ヲ開クヤ否ヤト云フ一讀會ノ續ヲ議題ト致シマス

○菅原傳君 別ニ御讃論セナイヤウデゴザイマスカラ、直ニ一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）別ニ御異議ナイト認メマスカラ、二讀會ヲ省略シテ本案ヲ確定シマス、次ニ今委員長報告ノアツメ日程第十一、裁判所構成法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開マス

○議長（長谷場純孝君）本案モ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ確定ト云フコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長（長谷場純孝君）御異議ナイト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ

○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」議題ニ供シマス

裁判所構成法中改正法律案（豊増龍次郎君外三名提出）確定議
〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナケレバ其通り致シマス、鐵道建設ニ關スル建議案外一件ヲ議題トナシ、請案ノ朗讀ハ省略致シマス

○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）別ニ御異議ナイト認メマスカラ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定致シマス、日程第十二乃至十七ハ鐵道ニ關スル建議案ナルニ依リ、一括シテ議題トナシ、各案毎ニ提出者ヨリ其趣旨ヲ辯明ナサシムルコトニ御異議アリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）別ニ御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）別ニ御異議ナシト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ○議長（長谷場純孝君）〔異議ナシ異議ナシ〕「聲起ル」
○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

一栄木縣下今市又ハ西奈須野ヨリ分岐シ福島縣下田島、高田、坂下、喜多方ヲ經テ山形縣下米澤ニ接續シ及福島縣下高田、坂下附近ヨリ分岐シ同縣下若松ニ接續スル鐵道

本鐵道ハ產業ノ發展交通ノ不備ヲ補ハムカ爲最急設ヲ要スルモノト認ムルヲ以テ政府ハ至急調査ノ上相當ノ處置ヲ爲スヘシ

右建議ス

一常磐線原ノ町又ハ浪江ヨリ分岐シ川俣ヲ經テ福島又ハ松川ニ接續スル鐵

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

本鐵道ハ產業ノ發展交通ノ不備ヲ補ハムカ爲最急設ヲ要スルモノト認ムル
ヲ以テ政府ハ至急調査ノ上相當ノ處置ヲ爲スヘシ
右建議ス

鐵道速成ニ關スル建議案

鐵道速成ニ關スル建議

一岐阜縣下岐阜市ヨリ同縣下多治見町ニ至ル鐵道
右ハ東海道鐵道岐阜ヨリ中央鐵道多治見ニ連絡スル鐵道ニシテ現ニ豫定線
ト爲リ產業ノ發展、交通ノ不備ヲ補フヘキ重要ナル線路ニシテ急設ヲ要ス
ルモノト認ムルニ付政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ明治四十五年度ヨリ建設ニ着手
セラレムコトヲ望ム

右建議ス

飛驒鐵道建設ニ關スル建議案

飛驒鐵道建設ニ關スル建議

一岐阜縣下太田ヨリ飛驒國高山ヲ經テ富山縣ニ至ル鐵道
右鐵道ハ產業ノ發展交通ノ不備ヲ補フヘキ東海道鐵道ト北陸道鐵道トヲ連
絡スル横斷線ニシテ急設ヲ要スルモノト認ムルニ依リ政府ハ速ニ調査ヲ遂
ケ相當ノ處置ヲ執リ建設ニ着手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議

新潟縣新發田町ヨリ山形縣鶴岡、酒田ヲ經テ秋田縣秋田市ニ達スル鐵道線
路ハ其ノ距離約百五十哩餘ニシテ此ノ間農產物林產物礦產物海產物等極メ
テ豐富ナル處ナリ然ルニ今尙鐵道ノ敷設ナク海上モ亦年ノ大半ハ風波高キ
カ爲ニ交通杜絶ノ實況ナリトス依リテ政府ハ速ニ該鐵道ヲ敷設シ勿越地方
無限ノ富源ヲ開發スルト同時ニ東北交通ノ利便ヲ増シ國家經濟ノ發達ヲ計
ルヘシ

右建議ス

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議

新潟縣新發田町ヨリ山形縣鶴岡、酒田ヲ經テ秋田縣秋田市ニ達スル鐵道線
路ハ其ノ距離約百五十哩餘ニシテ此ノ間農產物林產物礦產物海產物等極メ
テ豐富ナル處ナリ然ルニ今尙鐵道ノ敷設ナク海上モ亦年ノ大半ハ風波高キ
カ爲ニ交通杜絶ノ實況ナリトス依リテ政府ハ速ニ該鐵道ヲ敷設シ勿越地方
無限ノ富源ヲ開發スルト同時ニ東北交通ノ利便ヲ増シ國家經濟ノ發達ヲ計
ルヘシ

右建議ス

○議長(長谷場純孝君) 先づ日程第十二、三土唐造君外三名提出ノ建議案——

(佐治幸平君登壇)

佐治幸平君

(佐治幸平君登壇)

○議長(長谷場純孝君) 日程第十二、十三ヲ併セテ同人ヨリ説明シタイト云フコト
デアリマスカラ、其通り御承知ヲ請ヒマス

○佐治幸平君 諸君、本案ト其内容ヲ略、同ウ致シテ居ルトコロノ建議案へ一昨日平
島松尾君外二名ヨリ御提出ニナリマシテ、平島君ヨリシテ頗ル明瞭ナル御説明ガアツタ
ノアリマスカラ、稍々其内容ヲ同ウスルトコロノ鐵道建設ノ問題ニ付キマシテ蛇足ヲ本
員ヨリ加ヘマスルコトハ無用ノヤウテハゴザイマスクレドモ惜シイカナ平島君ノ御説明ハ
語テ詳ナラズ、其線路ノ十分ナル國家的必要ノ效能ヲ發揮スルニ足ラヌ處ガアリマス
ルか故ニ、本員ハ茲ニ其大要ヲ申述ベヤウト思ヒマス、ソコデ其前ニ御断リヲ申シテ置ク
ノハ日程ノ第十二ト十三ノ順序ニアリマスガ、十三ノ方ヨリシテ先キニ説明ヲ致シマス、
是ハ所謂福相線ト申ス線路アザイマシテ、福島方面ヨリ相馬方面ニ通ズルトコロノ鐵
道ノ線路ニアリマス、而シテ本員等が此案ニ付テ平島君等ノ案ト其内容ヲ異ニ致シマシ
タ所以ハ第一此福島ヨリ相馬ニ通ズルト云フ唯漠然タル文字ヲ臚列シテ建議ヲスルト
云フコトハ甚ダ不調査極マルコトデアルト思フノアリマス、故ニ福島又ハ松川ヨリシテ相
馬ノ地方ニ於キマシテハ原ノ町若クハ浪江ニ接續スルト云フコトヲ明カニシテ此案ヲ提
出スルニ至ツタ次第ニアリマス、而シテ此鐵道ノ必要ニ關シマシテハ平島君が遺憾ナク説
明ガアリマシタカラ、此十三ニ對シテハ私ハ別ニ蛇足ヲ加ヘマセヌ、十二ノ問題ハ野岩羽
ノ問題ニアリマスガ、此事ハ平島君ノ説明が甚ダ不十分ニアラウト思ヒマスカラ、一言
申上げテ置キマス、平島君ハ此野岩羽ト云フ鐵道ノ線路ハ越後ノ此線路ニ付キマシ
テ、栃木縣竜三福島縣内ニ於ケル山林ノ關係若クハ鑛物等ノ關係ハ十分ニ御述ベニ
ナツタ、是ハ其通リアリマス、而シテ此線路ノ關係ハ新潟ヲ起點トシテ新潟ト東京間
ノ目的トシテ信越線トノ比較ヲ御述ベニナツタダケアリマスガ、是ハ左様ナ關係バカリノ
線路テハナイノデス、第一此線路ノ必要ヲ主張致ス所以ハ、岩越線即チ今日工事中
ニナツテ居ル部分ガゴザイマスガ、此岩越線ニ對シテノ比較ガドウテアルカト云フコトモ
明シテケレバ分ラナイ、此岩越線ヲ信越線ト比較スレバ諸君モ御承知ノ通り岩越線ノ方
ガ餘程信越線ニ比シテ新潟ヲ起點トスレバ近イノアリマス、尙此野岩羽ノ線ト云フモ
ノハ本員ノ提出致マシタコロノ線路ニ依リマスト、約四十哩岩越線ヨリ近クナルノア
リマス、ソレ故ニ本員等ノ見ルトコロニ依リマスト、本日ノ日程第十六、第十七ニ揚ゲテア
ル、即チ羽越沿岸鐵道ト云フモノト、此野岩羽線ト云フモノト、同一ノ運命ヲ將來ニ
有サナケレバナラナイ線路アルト云フコトヲ確ク信シテ居ルモノアリマス、ソレカラモウ一
ツハ米澤ヲ終點ト致スノアリマスガ、此米澤ヨリシテ福島ヲ通ル、即チ元ノ日鐵線ニ
依フテ東京ニ來ル聯絡上ノ關係ハドノ位差ガアルカト云フコトヲ申上ゲテ置ク必要ハアラ
ウ、是ハ哩數ニ於キマシテハ米澤ヨリ福島ヲ經テ東京ニ參ルヨリモ、此野岩羽ノ線ニ依
リマスト、是亦三十哩以上ヲ短縮致シマス、獨リ其距離ニ於テ三十哩餘ヲ短縮スルノ
ミナラズ、諸君ノ御承知ノ如ク福島米澤間にハ板谷時ト云フ急勾配ノ場所ガアリマス、
若シ一度此野岩羽線が竣工ヲ告ゲマスルト、此線路ハ全線百分ノ一内外ノ勾配ニ
依リテ、東京ト山形及秋田、青森ニ聯絡ヲ付ケルト云フ便宜ガアルノアリマス、斯ル唯
今申スヤウナ奥羽南線及岩越線等トノ關係上必要ナルコトヲ何故ニ平島君ハ御説明
ナカッタノアルカ、本員甚ダ之ヲ不審ト思ヒ、且遺憾ト感シマスが故ニ、此利益アルトス
ルモノヲ諸君ノ前ニ申上ゲテ置キマス、而シテ尙此野岩羽線ノコトニ付テ是非諸君ニ
ニシテ置キタイト思フ、諸君、私ハ嘗テ承リマスニ世界ノ文明ハ石炭ト鐵トニツニ待ツ
ト云フコトヘ、屢々承リマストコロデゴザイマスガ、又今日ニ於キマシテモ現ニ當期ノ豫算ニ
現ハレテ居ル製鐵所ノ擴張ノ如キニ於テハ、諸君ノ非常ニ御心配ニナツテ居ルトコロデア

ル、又此鐵及工業上ニ於ケル石炭ノ需用ト云コトハ、朝野ノ注目シテ居ル研究シテ居ルトコロデアル、是ハ本員ノ申スマデモナイコトデアリマスガ、此野岩羽鐵道ハ石炭ト鐵トニ大關係アリト云フ理由ハ、是非トモ諸君ノ前ニ申上ゲテ置ク必要ガアラウト私ハ思フ、ソレハドウニ云フコトカト申シマスルト此野岩羽ノ線路中ニハ頗ル大キナルトコロノ鐵山ガアルノデアリマス、此鐵山ハ未ダ多ク世ニ知ラレズ、即チ土地ノ不便ナルガタメニ世ノ注目ニ觸レズ、政府モ亦之ヲ粗漏ニ付シテ、調査ヲナサナイノデアリマスガ、此線路中ニハ本員ノ見ルトコロ、又本員ノ聞クトコロニ依リマスト、或ハ前年政府が數十万圓ノ金ヲ投ジテ買收致シマシタコロノ赤谷ノ鐵山ヨリ、或ハ以上ノ大鐵鑛が此線路中ニアルノデアリマス、諸君、畢竟我邦ガ製鐵所ノ經營ニ於テ苦シニ居ルノハ何デアルカト申シマスルト、實ハ材料ノ多クハ支那ヨリ輸送シ來ルトコロノ困難ガアルタメデアラウ、若シ此製鐵材料ガ内地ノ最モ便宜ナル方面ヨリ得ラル、ト云フコトニナリマスルト、現ニ朝野テ今日研究スルトコロノ製鐵所ノ困難問題ハ一朝ニシテ解決セラル、モノデアルト私ハ思フ、故ニ此野岩羽鐵道ナルモノハ國家の必要ノ上ニ於キマシテ、建設スル必要ガアルト思フ、然フハ石炭トノ關係ハドウニ云フ理由ガアルカト云フコトモ、一言申上ゲテ置カウト思ヒマス、諸君、御承知デアリマセウガ、先年政府が新潟縣下ノ赤谷鐵鑛石ヲ抜光ノ製鐵所ニ輸送シヤウト云フコトヲ目論見マシテ、赤谷ヨリ之ヲ新潟ニ送ツテ、新潟ヨリ之ヲ船積ミニスルト云フ計畫ヲシタノデアリマス、其際ニ政府が赤谷ト新潟トノ間ヲ鐵道ニ據考テアリマシタ、即チ其時ハ私設ニアリマシタガ、岩越鐵道會社ニ内ニ相談致シタコトモアル、本員ナドモ會社ノ其協議ニ參與シタコトモ實ハアルノデス、然ルニ其事ハツイ行ハヌデアッタノデアリマスガ、其行ハレナカッタコロノ原因ハ何デアルカト申シマスト、九州ト新潟間ニ於ケル即チ技光ト新潟港ノ間ニ於テ輸送上片荷物ニナルト云フコトが大困難テアッタノデス、新潟ヨリ船ニ鑛石ヲ積ンテ枝光ニ送リマスト、新潟マテ歸リハ空船ヲ持ジテ來ナケレバナラスト云フコトが計畫ヲ止メタ原因ニナツタモノト私ハ思フ、若シ此野岩羽ノ鐵道ニ依リマシテ、其中間ニアルトコロノ大鐵鑛ヲ採掘シ進シテハ此野岩羽線ト接續スルトコロノ岩越線トニ依シテ赤谷鐵鑛ヲ横濱ヨリシラ輸送スルト致シマシテ、而シテ九州ニアルトコロノ石炭ヲ横濱港ニ送ツテ參ッタラバ、決シテ片荷物ニナル虞ガナインデアリマス、而シテ九州ノ石炭ヲ是ニ依シテ多ク横濱港ニ輸入シ參ッタラバ、此東京附近ノ工業ノ發達ヲ助クコトハドレタケニナリマセウカ、是ハ石炭ト鐵トノ關係上又工業ノ獎勵ノ上ニ於キマシテモ、此野岩羽ナルモノ、建設ト云フコトハ、國家的ノ上ニ於テ私ハ頗ル必要ナコトデアルト感ズルノデアリマス、希クハ諸君ノ御同意ヲ得テ本案ノ速ニ成立致シマシテ、政府ニ於テモ建議ヲ容レテ成ルベク近キ將來ニ建設ニ至ルヤウニ希望致ス次第アリマス

○議長（長谷場純孝君） 日程第十四、古井由之君

〔古井由之君登壇〕

○議長（長谷場純孝君） 日程第十四、十五ハ同時ニ説明ヲ許シマス

○古井由之君 鐵道速成ニ關スル建議是ハ岐阜縣下岐阜市ヨリ岐阜縣下ノ多治見町ニ到リマスル鐵道デガザリマシテ、此鐵道ハ豫定線ニナシテ居リマシテ、既ニ二十五コトモザイマス、又二十五議會以來鐵道ノ速成ノ建議ガアル度毎ニヤハリ此案ノ此鐵道ノ概約豫算ト云フモノハ政府ノ方デハ立テ、説明ヲ致シテ居リマス、サウシテ前ノ豫定

テ申シマスルト、中央線ガ東西兩線ガ貫通致シマシテ、成功ヲ致シマスル翌年ニハ此線ハ成功ヲ致シマスル豫定デアリマシタコロガ、經費ノ都合ニ繰延ニナリマシテ、今ニ是ノ著手ニナリマセヌノデアリマス、此線路ト申シマスルモノハ中央線ノ多治見カラ東海道線ノヲ投ジテ買收致シマシタコロノ赤谷ノ鐵山ヨリ、或ハ以上ノ大鐵鑛が此線路中ニアルノデアリマス、諸君、畢竟我邦ガ製鐵所ノ經營ニ於テ苦シニ居ルノハ何デアルカト申シマスルト、實ハ材料ノ多クハ支那ヨリ輸送シ來ルトコロノ困難ガアルタメデアラウ、若シ此製鐵材料ガ内地ノ最モ便宜ナル方面ヨリ得ラル、ト云フコトニナリマスルト、現ニ朝野テ岐阜市ニ通ズルノデゴザイマシテ、中央線ガ成功ヲ致シマシテモ、關西ニ通ジマスルノハ何レモ目下ニ名古屋ニ出マシテ、名古屋カラ東海道線ニ依シテ關西ヘ參ラナケレバナリマセヌ、然ルニ此線が出來マスルト、中央線ノ多治見ヨリ岐阜ヘ短キ距離ニ通シマスヤウニナリマスノデゴザイマスガ故ニ、此中央線ノ沿道殊ニ岐阜縣下ノ東濃ニ於キマシテハ御承知ノ多治見ノ陶器ト申シマシテ、多分ノ陶器ノ製造モゴザイマス、又木曾山中ノ木材ト云フモノモ搬出致シマスルノガ澤山デゴザイマス、殊ニ又木曾山中ノ方ハ米穀或ハ食料品が少ナウゴザイマスルカラ、關西地方カラ何レモ米が向フヘ參リマスノガ、此線路ニ依リマシテ運ビマスレバ、距離が短ク、運賃モ少ク參リマスヤウナ次第デゴザリマステ、殊ニ又信州地方ニハ養蠶製絲ト云フモノモ盛ンデゴザリマスルが故ニ、產業ノ發達上此線路ハ實ニ有要ナル必要ナルモノト認メマスガ故ニ、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ請ヒ、政府ニ於テモ來年度ニ於テハ是非此線路ノ著手アランコトヲ希望致シマスノデゴザリマス、尙又飛驒鐵道建設ニ關スル建議案デゴザリマスルガ、是ハ唯今説明ヲ致シマシテ多治見ヨリ岐阜ノ間ニ貫通致シマスル線路ノ中間ノ太田ト申シマスル所ヨリ飛驒國高山ヲ經マシテ、越中ノ富山縣ニ參リマスルトコロノ鐵道デゴザリマシテ、本鐵道モ豫定線デゴザリマシテ、政府ニ於テハ是ニ昨年實地ヲ踏査シテ、ソレヲ發達ヲサセルト云フコトハ、實ニ困難デゴザリマス、殊ニ又飛驒ノ國ハ御料林が多分ニゴザイマス、又國有林が多分ニゴザイマス、此木材ヲ出シマスルノハ目下ハ漸クニ致シマシテ、川ヲ出マスルトカ、或ハ白木ニシテ馬車デ運ブト云フヤウナコトデゴザイマシテ、山林ヲ開發スル上ニ於キマシテハ、餘程有要ナルトコロノ線路デゴザイマスルシ、且又北陸ノ鐵道ト東海道ノ鐵道ト申シマスルハ、西デハ米原へ回リマシテ、連絡フル或ハ又富直線が出來マスルト、信州ノ方デゴザリマス、此木材ヲ出シマスルノハ目下ハ漸クニ致シマシテ、川ヲ出マスルトカ、或ハ白木ニシテ馬車デ運ブト云フヤウナコトデゴザイマスルガ、此線路ハ即チ南ハ熱田ノ港カラ、北ハ越中ノ伏木ノ港ニ通ジマスルトコロノ所謂南海北海ヲ連絡ラ致シマスル線路デゴザイマスルノミナラズ、第三師團が名古屋ニゴザイマスル、又第九師團が金澤ニゴザリマスル、此三師團ト九師團トノ兩方ヲ連絡ラ致シマスル軍事上ニモ必要ナルトコロノ線路デゴザリマスルが故ニ、是非トモ是ハ早ク政府ニ於テモ建設ヲ希望スル譯デアリマスルシ、又其地方ノ產業發展上ニ於テ大ニ有益ナル線ト認メマスルが故ニ、ドウカ滿場ノ御贊成ヲ得テ、本建議案ノ成立センコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君） 日程第十六——高橋光威君

〔高橋光威君登壇〕

○議長（長谷場純孝君） 日程第十六——高橋光威君

○高橋光威君 簡單ニ建議案ノ趣旨ヲ申上ゲマス、私共ノ建議致シマシタ鐵道ノ建設議案ハ新潟縣新發田町ヨリ山形縣鶴岡酒田ヲ經テ秋田縣秋田市ニ達シマスル百五十哩ノ鐵道ヲ建設致シタコト云フ希望ナノデアリマス、此間ニ於キマシテハ農產物、林產物ハ申スマデモナク、鐵道又ハ海產物等頗ル多ク產出致シマスル所アリマシテ、殊ニ越後國、羽前、羽後三國ニ跨ツテ居リマスルトコロノ此約百五十哩ノ沿線ニ於キマシテハ、

市街地モ少カラザル譯アリマスルカラシテ、乗客其他貨物ノ餓多ナルコトハ、申スマデモア

リマセヌ、抑我國ノ鐵道ハ北ハ青森ヨリ下ノ關ニ達シマスルトコロノ太平洋沿岸ノ鐵道ハ聯絡ヲシテ既ニ敷設済ニナツテ居リマス、併ナガラ日本海岸ニ於キマシテハ唯今建議シ

タトコロノ羽越沿岸線百五十哩ト並ニ所謂敦鶴線ト申シマストコロノ線路ノ中斷ガアリマシテ、此項豫算ヲ見マスルトコロガ、山陰線ハ既ニ敷設スルコトニナツテ居ルヤウデア

リマスカラシテ、日本海沿岸約七百哩ノ鐵道ノ中ニ未ダ決定セラレザルモノガ一ツアルノデアリマス、敦鶴線ハ姑ク申上ケマセヌガ、私共ノ唯今茲ニ建議致シマシタコロノ羽越

沿岸線ト云フ百五十哩ノ鐵道ニ至リマシテハ、其地域前申上ゲマス如ク三縣ノ廣キニ瓦ツテ居リマシテ、產業ノ開發上竝ニ全國ノ經濟ヲ進メル上ニ於キマシテモ、至極必要ナル急急ナモノアルト信ズルノアリマス、此項東北振興ナドト云フヤウナ說モ流行シテ居ル際デアリマスカラシテ、願クハ當院ノ審議ヲ仰ギマシテ、速ニ此案ノ成立致シマスルヤウニ希望致ス次第アリマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第十七、齋藤宇一郎君

(齋藤宇一郎君登壇)

○齋藤宇一郎君 本員共ガ茲ニ提出致シマシタコロノ羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案ハ、唯今高橋君ヨリ説明セラレタトコロノ案ト同一ノモノテアリマス、大要高橋君ハ此線路ノ必要ニシテ速ニ敷設ヲ要スベキモノアルト云フコトヲ述ベラレタノアリマシテ、多く言葉ヲ重ネル必要ハアリマセヌが尙其述ベラレザルトコロノ必要ナニ三ノ點ヲ述

ベタイト思ヒマス、我國ハ御承知ノ通り非常ニ長イ島國アリマシテ、一方ノ方ニハ既ニ縱貫線が貫通シテ居リマスガ、一方ノ方ニハ高橋君モ述ベラル、通り所々切レニナッテ、未ダ交通が完備シテ居ラヌノアリマス、殊ニ羽越沿岸ニ於キマシテ一大缺陷ヲ生ジテ居ルタヌニ、全ク日本海沿岸ノ交通が完備シテ居ラヌノアリマス、故ニ運輸上カフ申シマスレバ、太平洋沿岸ニノミ貨物が集中シテ、之がタメニ圓滑ヲ缺イテ居ルト云

フコトハ、事實デゴザイマス、若シ日本海沿岸ノ縱貫線が完備致シマスレバ、啻ニ此地方ノ利便開發ニ貢獻スルバカリデナク、全國ニ於ケル運輸ノ圓滿ヲ保チマシテ、我國ノ交通政策上ニ於テ偉大ナル效果ヲ現ハシテ來ルデアラウト思フノアリマス、若シ此線路ガ完備致シマセヌケレバ、日本ノ運輸ノ圓滿ヲ圖ルトコロノ計畫ヲ十分ニ立ツルコト能ハザルモノト私ハ信じテ居ルノアリマス、丁度日本海沿岸ニ於キマシテ、其脈が爛レテ居テ、太平洋沿岸ニノミ貨物が集中スルタヌニ一方ハ充血シテ此運輸ノ圓滑ヲ缺イテ居ル、即チ日本ノ産業ノ發達ニ於テ病的ノ關係ヲ現ハシテ居ルト云フコトハ事實デアル、今日ノ如キ既ニ鐵網ヲ編成シ、又一面ニ於テ廣軌ノ計畫ヲ立テ、アル場合ニ於テハ先づ私共ノ考ト致シマシテハ、此必要ナル日本海沿岸ニ於テ縱貫線ヲ完備シテ然ル後ニ其緩急ヲ圖ツテ、鐵道網若クハ其他ノ計畫ヲ立ツルノガ至當デアツテ、血液ノ循環が甚ダ不十分デアツテ、病的ノ狀態ヲ現ハシテ居ル今日ニ於テ、輕卒ナル計畫ヲ立テルト云フコトハ甚ダ面白クナイコトゴザイマスカラ、先づ此ノ如キ既ニ必要ナリト認メテ敷設法ニ掲ゲアル線路、而モ日本ノ運輸交通上是非急速ヲ要スベキ是等ノ線路ヲ政府ハ速ニ計畫ヲサレテ著手セラレントラ希望スルタヌニ、更ニ私共ハ此案ヲ提出シタ次第アリマス、ドウカ前案ト共ニ委員ニ付託セラレテ御審議ノ上通過セラレントラ希望シマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 第十二、第十三、是ハ一括シテ一月一日ノ日程鐵道建設ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ付託シタイト云フコトヲ書面ヲ以テ菅原君カラ申込ニナツテ居リマス、御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、次ハ日程第十六、第十五回案ハ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託シタイト云フ動議ヲ提出サレテアリマス、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、日程第十八ハ提出者ヨリ延期シタイト云フ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、延期ニ決シマス、日程第十九、第二十同種ノ建議案ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ教員優待ニ關スル建議案荒川五郎君外三名提出ト爲シ、議案ノ朗讀ヲ略シマス、提出者荒川五郎君

第十九 教員優待ニ關スル建議案
第二十 小學校教員體給國庫補助ニ關スル建議案(三土忠造君
外二名提出)

教員優待ニ關スル建議案

教員優待ニ關スル建議

國運ノ發展國力ノ充實ヲ圖ラムニハ國民教育ノ基礎タル小學教育ノ改善ヲ緊要トシ其ノ教育ノ改善ハ良教員ヲ得ルニ非サレハ其ノ效果ヲ收ムルコト能ハス而シテ方今小學校教員ハ啻ニ其ノ本務ニ忠實ナルノミナラス其ノ地方社會一般ノ教育及其ノ風紀矯正等ニ努力シツツアリ此ヲ以テ近來教員ノ待遇モ漸次改良セラルアリト雖而モ尙其ノ俸給薄フシテ未タ其ノ職責ノ重キニ伴ハス隨テ貞教員ヲ得ルノ途ニ於テ遺憾少カラストス依リテ政府ハ小學校教員ノ俸給ニ對シ國庫ヨリ其ノ幾分ヲ補助シ以テ一層優遇改善ノ道ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

小學校教員體給國庫補助ニ關スル建議案

小學校教員體給國庫補助ニ關スル建議

我國ノ小學校教員ハ其ノ職責ノ重且大ナルニ似ス其ノ待遇甚薄キニ失セリ然ルニ官吏ノ増俸ニ伴ヒ一般公吏ノ待遇亦厚キヲ加ヘ獨リ小學校教員ノミ其ノ恩惠ニ浴スルコト能ハス而モ市町村教育費ノ負擔ハ今ヤ殆ド其ノ極度ニ達シ此ノ上小學校教員ノ爲ニ増俸ヲ行フノ餘力ナシ故ニ政府ニ於テ國庫ヨリ小學校教員ノ俸給ヲ補助シ他ノ官公吏ト均衡ヲ保タシムヘシ右建議ス

(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 大分時間も經てマスジ惰氣兆シテ來タヤウデゴザイマスカラ、簡単ニ申述べテ、滿場諸君ノ御贊成ヲ請ヒマス、諸君、國ヲ建ツルハ民ヲ教フルニ在リトハ、古人ノ金言デ、凡ソ何事ヲ爲スニモ其人ヲ得ナケレバナラナイ、國家社會万般ノコト皆ナ人ニ依リテ興リ、人ニ依リテ衰ヘル、彼ノ事業ノ陰ニハアリト云フノモ、其人ヲ得テ其事業舉ルコトヲ申スノデ、人ヲ造ル即チ教育ト云フコトハ、國運ノ發展ヲ圖リ、國力ノ充實ヲ圖ル基礎ア、社會ノ文明モ、國家ノ富強モ、全ク教育ノ弛張如何ニ在ルコトハ、申スマニモナイデゴザイマス、ソコニテ今日各國共銳意競ウテ教育ヲ盛シニシ、殊ニ小學教育ハ之ヲ國家、自治、人民、此三者ノ義務トシテヲ課シ、同時ニ之ヲ大ニ保護獎勵致シテ居リマスル有様デ、我邦モ明治維新ノ初メ學制ヲ布カレ同時ニ「村ニ不學ノ家ナク、家ニ不學ノ人無カラシメン」ト云フ大詔ヲ煥發アラセラレ、後ニハ教育ニ關スル勅語モ下シ賜ハリ、殊ニ又彼ノ日露戰役中即チ何物ヲ犠牲ニシテモ軍國ノタメニセナケレバナラヌト云フ場合ニモ拘ハラズ、「軍國多事ノ際ト雖モ教育ノ事ハ忽セニスヘカラズ」ト御沙汰アラセラレシガ如キ、宏大無量ノ大御心ハ、實ニ恐察シ奉ルニ餘アルコトデ、吾ミ臣民タルモノ滿腔ノ誠意熱心ヲ以テ共ニ斯道ニ盡瘁シ、以テ知能ヲ啓發シ、德器ヲ成就シテ、國ノ富強文明ヲ圖ラナクテハナラナイ、然ルニ諸君、今日教育殊ニ小學校教育ノ實際ノ有様ハ如何アリマスルカ、諸君、是レ國家トシテ大御心ニ對シ奉ル所以デゴザイマセウカ、國家ノ目的ニ副フ所以デゴザイマセウカ、國家ハ尋常小學教育ヲ國民ノ義務トシテ課シナガラ、ソレニ相當ノ教育ヲ施ガハズニ、不完全ナル無資格ナル者ヲ以テ補足ヲ致シ過シテ、ソレデ濟ムデゴザイマセウカ、翻ツテ見ルニ各會社ヤ、銀行ヤ、又諸官役所等モ、皆今日ハ其人ヲ得ルニ苦マヌカカリテハゴザイマセス、孰レモ其多ギニ苦シニ居ルタメニ、世間就職難ヲ嘗テ、沽ラシ哉ヲ呼ブ者ハ各地ニ澤山有リ餘ツテ居ル有様デアル、然ルニ此貴重ナル教育高尙有爲ナル教員ニ其人ヲ得ズシテ、幾萬ノ缺乏ハ長ク之ガ補充ノ途サイヘ立タナイバカリテハナカ、今日教員ノ職ニ在ル者ニモ何カ好キ機會ガアレバ、他ノ職ニ轉ジヤウトシ、腰掛け氣デ居ル者ガ多イト云フコトハ、果シテ如何ナル理由ニ依ルカ、是ハ疑フマデモナク其職責ノ重且大ナルニ反シ、其待遇大ニ薄キニ依ル譯デゴザイマセウ、諸君、教育ヲ盛シニヤウト思ヘバ、教員其人ヲ得ナクテハナラナイ、教員其人ヲ得ナクテハヤウト思ヘバ教員ノ待遇ヲ厚クシテ、良キ人物ヲ吸收スルヤウニシナクテハナラヌノハ申スマニ自然ニ輕噪浮薄ニナリマス、教員其人ヲ得ルト否トハ、豈國家前途ニ大關係アル大ノ感化ヲ與ヘル、彼ノ「子供ハ親ノ性質ノ鏡デアル」ト云フが如ク、第一ノ親タル教員其人ノ品性、人格、言語、舉動ハ悉ク兒童ナル鏡ニ映リテ、其人格、品性ヲ作リマスカラ、教員が沈著有爲ナレバ、兒童モ沈著有爲ニナリマセウ、教員が輕躁浮薄アレバ、兒童モ自然ニ輕躁浮薄ニナリマス、教員其人ヲ得ルト否トハ、豈國家前途ニ大關係アル譯アハゴザイマセウカ、是レ今日世界各國トモ教員ヲ優待スル所以デ、教員ヲ優待スルノハ即チ國民ノ進歩ヲ優待スルノアル、國民ノ進歩ヲ優待スルノハ國家ノ前途ノ發達ヲ優待シ、之ヲ歡迎スル所以デアル、是ヲ以テ各國トモ小學教育ニ多大ノ國費ヲ出シテ居リマス、即チ英吉利ハ小學校教育費總額ノ五割餘出シテ居ル、佛蘭西ハ六割半

○三土忠造君 登壇
○議長(長谷場純孝君) 日程第二十一、三土忠造君

(三土忠造君登壇)

○三土忠造君 本員ノ提出致シマシタ 小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案ハ、唯今ノ荒川君が御提出ニナシテ、且御説明ニナシタコロト、精神ニ於テハ同様ノ案ニアリマス、早ク唯今ノ案ニ御提出ガアルト云フコトヲ知リマシタナラバ、差控ヘテモ宜カツタ位ノコトデアリマスガ、サウシテ唯今荒川君カラ雄辯滔々詳細ニ御説明ガゴザイマシタカラ、私が茲ニ蛇足ヲ加フル必要ガナイカト思ヒマスルケレドモ、荒川君ノ語ヲ未ダ審ナラザル所ヲ述ヘテ、未ダ及ハザル所ガ少シゴザイマスカラ、ソレヲ補ツテ見タイト考ヘマス、小學校教育ノ國家將來ニ進運ニ大關係ノアルコトハ勿論申スマデモナイコトデ、此學校教育ノ成績ヲ舉ルノハ、小學校教員タルモノニ優良ナル人物ヲ選ミ、樂シテ其職ニ從ハシムルコトノ必要ナルコトハ、喋々ヲ要シナイコト、考ヘマス、然ルニ我帝國ノ小學校教員ハドウ云フ風ノ狀態ニアルカト申シマスルト、他ノ一般官公吏ト比較シテ、餘程待遇が低キ、ソレガタメニ動モスルト云フ、生活難ヲ訴ヘ、延イテハ他ヲ羨ミ、世ヲ怨ムト云フ風ナ、極ク不満ノ状態ニ居ル、小學校教員が極ク不満ノ状態ニ居ルト云フコトハ、此少年ニ對スル感化ノ上ニ憂フベキ現象ヲ呈スルノデアリマス、トウシテモ小學校教員ト云フモノハ、樂シテ其職ニ從事セシムルト云フコトニシナケレバナラヌ、從來ニ於テ既ニ小學校ノ教員ノ待遇が、他ノ一般官公吏ノ待遇ト均衡ヲ得テ居リマセス、然ルニ此明治四十三年ニ官吏ノ増俸が行ハレマシテ、延イテ公吏ノ増俸モ段々行ハレテ居ル、然ルニ獨リ此小學校教員ノ増俸ハ行ハレナイカト云フ、市町村ノ

負擔が非常ニ重イ、ソレガタメニ到底市町村ガ小學校教員ノ俸給ヲ増加スルト云フコトハ、不可能アル、之ガタニ小學校ノ教員ト他ノ官公吏トノ待遇ノ權衡ガ、益々甚シキ差異ヲ呈シテ來マシテ、小學校教員ノ境遇が益々憐れナ状態ニ陥リツ、アルノデアリス、テ唯今荒川君モ御説明ニナリマシタが、歐羅巴ノ文明諸國テハ、固ヨリ小學校教育ニ國庫ガ金ヲ出シテ居ル、地方ノ負擔が、却テ國庫ノ負擔ヨリ輕イ所ガアル、日本ノ國ハ小學校ノ教育費ガ、地方ノ負擔ノ全體が五千三百萬圓以上ニナシテ居ルニ拘ハラズ、國庫が出シテ居ル金ハ、僅ニ百五十萬圓アル、百五十萬圓ノ中テ五十萬圓ト云フモノハ、僅ニ昨年カラ出スコトニナシタ金アル、斯ウ云云フ風ニテス、國民教育ノ負擔ノ殆ド全體ヲ地方ノ自治團體ガ負擔シテ居ルト云フヤウナ國ハ、世界何レノ國ニモナインアル、我國ノ如ク地方ノ自治團體ガ、此小學校教育、換言スレバ即チ國民教育ノタメニ負擔ヲ重ク掛ケラレテアレニ對シテ喜ンテ出シテ居ル國ハ外ニナインアル、ドウシテモ此小學校ノ教員ノ待遇ヲ良クシャウト思ヘバ、國家が補助スルヨリ外ニ途ガナイト考へル、本員ナドハドウシテモ此地方ノ自治團體ノ負擔ハ、是以上ニハ進メラナイ、是カ後ニハ若シ小學校ノ教員ノ待遇ヲ増シ、其他學校ノ設備ヲ良クスルト云フ場合ニハ、國家ノ補助ニ待ツ外ナイト考ヘルノアリマス、教員優遇ト申シマスルコトハ屢々唱ヘラレコトデ、政治家ヲ始メ教育ニ興味ヲ持テ居リマスルモノハ、始終唱ヘテ居リマスガ、日本ノ國デハナカニ、早ク行ハレナイ、獨逸ノ如キモ隨分教員ヲ待遇スルコトが低カッタノデアリマスカ、此最近十數年ノ間ニ俄ニ進歩シテ、今日テハ各聯邦競争ノ教員ヲ優遇致シテ「サクセン」ノ如キハ師範學校ヲ卒業シテ、六十歳ニシテ職ヲ退クナラバ、其退職當時ノ俸給ト同ジ位ノ恩給ヲ與ヘルコトニナシテ居リマス、ソレカラ字漏西ノ如キハ、教員ノ一番高イ俸給ヲ取シテ居リマスモノハ、一箇年六千馬克ニ達シテ居ル、サウ云フ學校長ハ少クナイ、如何ニ少クトモ一千馬克以下ノモノハ餘リナイト云フヤウナ有様アル、然ルニ日本ノ小學校ノ教員ノ平均俸給ハ僅ニ十七圓五十錢アル、サウシテ他ノ官公吏ノ平均俸給ハ幾ラカト申シマスト、三十四五圓ノ平均ニナシテ居ル、ソコテ私ハ毎日文部省、大藏省ノ側ヲ通リマスト、四時頃ニ諸官署カラ出テ來ルトコロノ人々見ルト、如何ニモ形容枯槁、顏色憔悴、累々然トシテ喪家ノ狗ノ如キ人ガ澤山出テ來ル、是が即チ地方ノ官吏ヨリモット優遇サレテ居ル官吏アル、此憐ナル人ヨリモット低イノガ小學校教員アル、ドウシテモ小學校ノ教員ヲ此儘ニシテ置クコトノ出來ヌノハ多言ヲ要セズト考ヘル、ソコテ全國ノ小學校ノ教員ガ幾ラアルカト申シマスルト、尋常高等小學校教員ヲ併セマシテ十三万五千人アリマス、若シ此十三万五千人ニ對シテ假ニ他ノ官吏ト同ヤウニ二副五分増俸致シマスト、五百五十萬圓ヲ要スル、ソレカラ單ニ國民教育ニ從事シテ居ル尋常科正教員——イヤ、尋常高等科正教員ハ幾ラアルカト申シマスト、八万一千人バカリアル、此八万一千人ニ増俸スルト致シマスルト、二百七十五萬圓アル、文部省ハ二百万圓ダケ増俸云フ積リテ大藏省ヘ提出シタコロガ、大藏省ア削除セラレタト云フコトアル、勿論國家多事ノ今日ニアリマスカラアルカト申シマスト、八万一千人バカリアル、此八万一千人ニ増俸スルト致シマスルト、徐々ニ小學校教員ヲ國家が優遇シテヤル意思ガアルノデアルガ、財政上如何ニモ出來ナイデアルカラト云フコトヲ小學校ノ教員ヲシテ知ラシムルダケノ程度ニ於テ、段々優遇ノ途ヲ開いて行クコトが必要アラウト思ヒマス、唯今申ス五百五十萬圓トカ、三百七十萬圓トカ云フ金ヲ一時ニ出スコトハ出來ヌト致シマシテモ、來年度カラ一百萬圓テモ百

五十萬圓デモ出來ルダケノ金ヲ國庫ヨリ出シテ、地方ノ自治團體ニ補助シテ、サウシテ教員優遇ノ途ヲ開クト云フニトハ最モ必要ト考ヘマス、是ガ本案ヲ提出致シマシタ理由テゴザイマス

○菅原傳君 唯今説明ニナリマシタ、兩案ヲ一括シテ、議長指名九名ノ特別委員ニ付托セラレシコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 第十九、第二十ノ此兩案ヲ一括シテ、議長指名九名ノ特別委員ニ付托スルト云フ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス

○議長(長谷場純孝君) 此場合日程ヲ追加致シマシテ、大岡、山田兩君ヨリ提出ニナシテ居リマス鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供セラレントコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、日程ヲ追加シテ、鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供シ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者大岡育造君山田桃作君——大岡育造君

鐵道敷設法中改正法律案(大岡育造君外一名提出) 第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

第二條第一項山陰線ニ左ノ一號ヲ加フ

一島根縣下益田ヨリ山口縣下下關ニ至ル鐵道

○大岡育造君 此所カラ説明致シマス、此場合本案ヲ追加セラレテ、茲ニ説明ラナスコトヲ得マスノハ私ノ光榮トコロデアリマス、案ハ甚ダ簡單ナモノデゴザイマス、「鐵道敷設法中左ノ通改正ス、第二條第一項山陰線ニ左ノ一號ヲ加フ、一、島根縣下益田ヨリ山口縣下下關ニ到ル鐵道」是ダケアリマス、此島根縣ノ益田ヨリ下關ニ到ル線ヲ加ヘマスルト、始メテ裏日本が一貫スル、青森ヨリ下關ニ到ル、裏日本ノ貫通線が出來ルノデアリマス、是迄ハ海岸線ヲ避クルヲ要シタ事情ガアリマシタケレドモ、既ニ日露戰役ガアノ如ク終了致シマシタ以上ハ、日本海ナルモノハ今日テハ内海ト同様ニナシテ居リマスル、軍事上ノ關係モ大ニ一變致シテ參ッタ時代トナリマシタ、ソコテ此線ヲ相當ナ線ト認メマシテ、吾々ハ昨年中自ラ技術者ヲ派シテ調查致シマシタケレドモ、既ニ日露戰役ガアルト云フ結果ヲ得マシタ、勾配等モ七十五分乃至百分ノ一テ、急ナ所モ行ケルト云フ譯アリマスカラ、此近所ニ於ケル鐵道ノ中テ宜シイ方ノ線路ニ當ルノデゴザイマス、人口モ多ク、物産ニモ富シテ居リマスル所カラ、鐵道院ノ統計ノ示ストコロノ率ニ依テ計算ヲシマスルト、約五分ノ利益ヲ上ゲ得ルト考ヘラレル、昨年中又鐵道院ニ於キマシテハ、三隊ノ測量班ヲ出シマシテ、此所ヲ調査シテ、現ニ鐵道網トシテ、今度不シタ中ニモ此所ヲ有望ノ線路トシテ示シテ居ル次第ニアリマス、之ヲ一ヶ豫定線ニ加ヘタイト云フノガ、提案ノ趣意アリマス、之ヲ加ヘテ始メテ裏日本ノ線路が直ニ九州ト連絡シ直ニ朝鮮ト連絡スルコトニナリマス、何分諸君ノ御賛成ヲ希望スル次第アリマス

○菅原傳君 木案ハ帝國鐵道會計法中改正法律案外二件ノ委員ト同一委員ニ付
託セラレントヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今ノ菅原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、菅原君ノ動議ノ通り決定致シ

マス——御諸リヲ致シマス、豫算委員市田兵七君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、
許可シテ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、同君ハ第八部選
出ニ付、同部ノ諸君ハ速ニ補缺選舉ノ上御届アランコトヲ望ミマス、今一ツ御諸リ致シ
マス、來ル七日ハ議案ノ都合ニ依リテ休會ス、當日ハ火曜日ニテ質問ニ相當致シマス
ガ、此際ニ限り次ノ木曜日ヲ質問日ト變更ヲナスコトニ致シタイト思ヒマスカ、御異議ハ
アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス諸般ノ報告ヲ致
シマス

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

山陰縱貫鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 德田 謙甫君 恵松 隆慶君 河上 英君

砂糖消費稅法中改正法律案

提出者 三土 忠造君 武満 義雄君 中川虎之助君

議院法中改正法律案

提出者 高木 益太郎君 ト部 喜太郎君

一藤澤元造君ヨリ國定教科書編纂ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

○議長(長谷場純孝君) 本日議長ニ託セラレマシタ特別委員ノ氏名ハ、追テ公報ヲ
以テ御通知致シマス、次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散
會

午後四時十六分散會